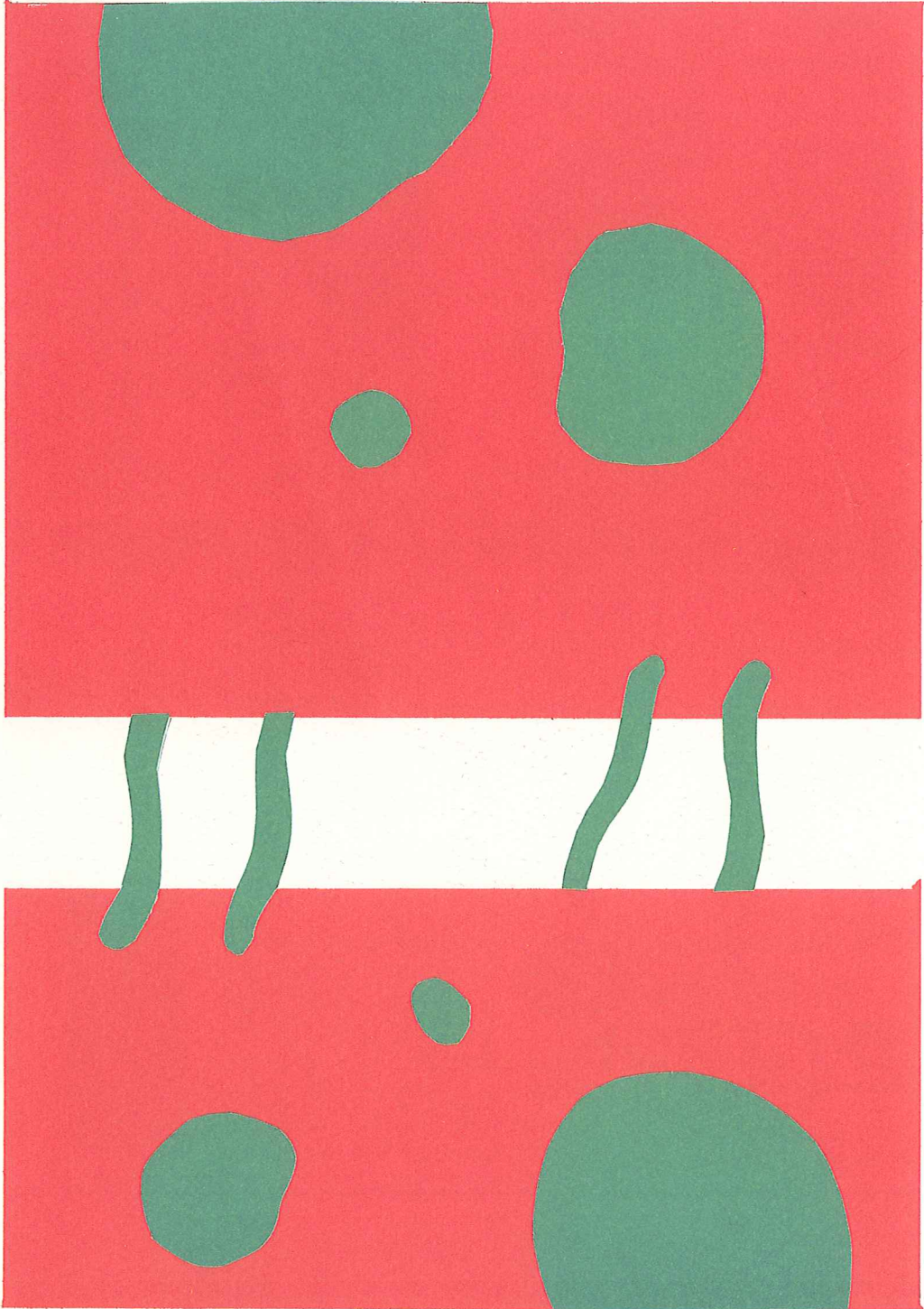


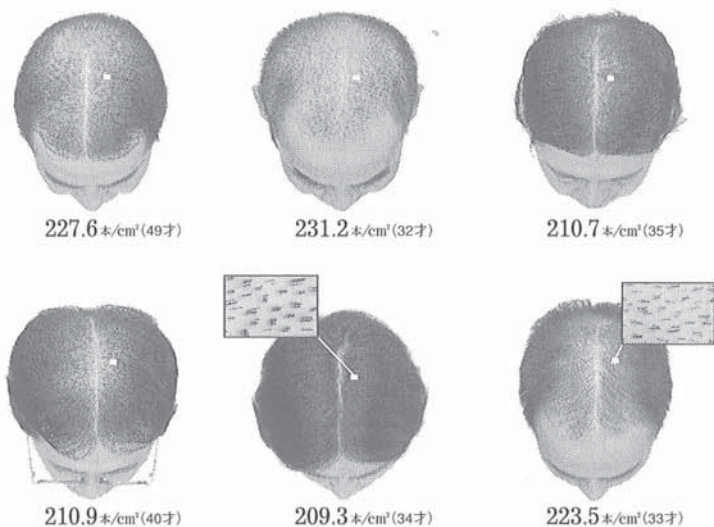
第19回

東京玉翠会

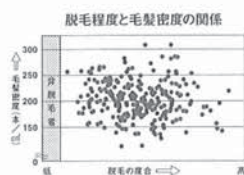
平成13年7月14日(土) 午後5時~7時

●東京プリンスホテル「鳳凰の間」





新事実。髪の本数は、ほぼ同じでした。



※資生堂研究所による男性型脱毛者と前髪脱毛者の毛髪密度比較試験より。

違いは、本数よりも太さでした。資生堂の最新の研究から判明した、意外な事実。薄毛の部分拡大して、微細なうぶ毛の密度を解析すると、単位面積あたりの毛髪の本数は、通常のひとほぼ同じだったのです。つまり、薄毛の原因は「髪の本数が多いか少ないか」よりも「一本一本の髪が太いか細いか」にあったわけです。

うぶ毛を太毛にする不老林アクト。不老林アクトは、和漢植物成分ソフォラ抽出エキスを新配合しています。これは、毛髪が育つ「成長期」を延長する薬効成分。一本一本の毛を十分に成長させ、早

「生やす」ことへの「太くする」ことです。新毛は、目に見えないほどのうぶ毛の状態から太毛に成長していきます。しかし未成長のまま抜けてしまうと、うぶ毛ばかりの「薄毛」の状態になってしまいます。つまり生えたらうぶ毛を太く濃く育てる「太毛の成長促進」こそが、薄毛を防止するカギだったのです。

期脱毛による薄毛を防ぎます。さらに、毛母細胞の働きが弱まると「退行期」と、次の新毛が生まれてくる「休止期」にもそれぞれ作用することにより、うぶ毛を太毛に育て、濃く、たくましい毛を増やします。



うぶ毛を太毛にする。  
資生堂 不老林  
ライブアクト

毛生促進・薄毛予防(医薬部外品) 5,000円 新発売  
表示価格は税抜希望小売価格です。

代表取締役社長 池田守男(高高S30年卒)  
取締役専務 細川 治(高高S34年卒)

◆ 目次 ◆

テーマ	.....	2
式次第	.....	3
H12年度収支計算書(案)	.....	4
ごあいさつ		
玉翠会会長	多田野 久	5
高松高等学校校長	秋山 忠	6
東京玉翠会会長	辻 義文	7
温故知新～世紀新たな陽に映えて		
座談会・われら高高三代 親子3代高高家族		
「4代目も5代目も高高を楽しみにしています」	.....	8
S6卒 鎌田三恵子	.....	16
S7卒 春山 善良	.....	15
S11卒 岡 式子	.....	18
S17卒 辻部 俊介	.....	20
S26卒 河江 一仁	.....	22
S27卒 箕岡 慶子	.....	24
S36卒 村尾 国土	.....	26
S46卒 土居 洋文	.....	28
S56卒 三好 英彦	.....	30
H4卒 東野 伸也	.....	25
特別プログラム サヌカイト紹介	.....	32
同好会・愛好会等紹介		
ゴルフ同好会	.....	34
囲碁同好会	.....	36
高高神田会	.....	38
インターネット研究会	.....	40
玉翠倶楽部	.....	42
東京玉翠会オールスターゴルフコンペ	.....	44
美術愛好会	.....	46
応援部OB会	.....	47
ブラバンOB会	.....	48
タイムカプセル開封記念式典報告	.....	50
各地の玉翠会だより		
関西玉翠会	.....	52
岡山玉翠会	.....	54
徳島玉翠会	.....	56
演奏者紹介	.....	58
校歌・校友会の歌	.....	60
東京玉翠会役員名簿	.....	68
東京玉翠会晩翠部会幹事名簿	.....	73
寄贈図書目録	.....	82
表紙絵作者紹介・編集後記	.....	59
東京玉翠会会則	.....	65
東京玉翠会高中部会幹事名簿	.....	70
東京玉翠会高高部会幹事名簿	.....	75
物品寄贈会社	.....	83

— テーマ —

## 温故知新～世紀新たな陽に映えて

タイムマシンの原理さえ明らかにされない現在までのところ、時はけっして過去に向かって流れることはなく、あらゆる生命はだれも知らない未来に向かって生きることを余儀なくされています。人間ももちろんその例外であるはずはなく、いつの時代も、どの国の人々も、明日を思い、明日に祈りながら懸命に歩みをつづけてきました。そんな、人々の「未来へのイマジネーション」がもっともいきいきと躍動し、ときに激しくぶつかりあった時代こそ、20世紀だったのかもしれませんが。

「明日に向かって生きる」ことがあらゆる生命の宿命だとしても、しかし私たちはもうひとつ—しかもこちらはおそらく人間だけに許された—生きるためのすばらしい知恵をもっています。

子曰、温古而知新、可以爲師矣（孔先生はおっしゃいました。古いスープを温めなおすように歴史や伝統をたずねることで、現代への認識や未来への展望を深める—そんな姿勢をもつ者こそ師にふさわしい）。

20世紀に生をうけた多くの人々にとって、おそらくは「未来」と同義であった21世紀が現実の足下となり、ひとつの夢がともかくも形になったいま、この社会全体が奇妙な停滞感に覆われているように見えるのも、あるいは無理からぬこと。肩のチカラをスッキリとぬいて、先輩諸氏の言葉に耳を傾けたり、懐かしい昔ばなしに花を咲かせたり、ちょっと意外なふるさとの素顔をのぞいたりするひとときを共有することが、いまこそとても大切に思えてなりません。

さて、そろそろ準備も整ったようです。本日、新世紀初となる東京玉翠会総会が、お集まりいただいた皆さまにとって新しい「未来へのイマジネーション」を育む契機になればと願いつつ、会場へご案内申し上げます。なお余談ではありますが、今夜温めなおしたスープには、白くてコシのある、あの古くて新しいふるさとの食べ物も、特別にお入れしておきましたので。

2001年7月14日

第19回東京玉翠会総会 幹事一同

## 式次第

- 一、 開会の辞
- 一、 東京玉翠会会長挨拶
- 一、 議 事
  - 会計報告
  - 監査報告
  - 役員改選
- 一、 来賓紹介
- 一、 来賓挨拶
  - 高松高等学校長 秋 山 忠 先生
  - 玉 翠 会 会 長 多 田 野 久 氏（昭和25年卒）
- 一、 乾 杯
  - 香 川 県 知 事 真 鍋 武 紀 氏（昭和34年卒）
- 一、 懇親会次第
  - 1. サヌカイト（カンカン石）演奏
  - 2. 東京玉翠会新会員（平成13年卒）紹介
  - 3. お楽しみ抽選会
  - 4. 母校図書購入資金贈呈
  - 5. 次回総会担当幹事（昭和53年卒）紹介
  - 6. 本年度総会担当幹事代表（昭和52年卒）挨拶
  - 7. 応援歌・校歌 斉唱
- 一、 閉会の辞

## 平成12年度収支計算書 (案)

自 平成12年4月 1日  
至 平成13年3月31日

東京玉翠会  
会長 辻 義文

〈特別会計〉

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
会場使用料	5,021,210	総会出席会費	5,643,000
会場運営費	1,153,600	男性 548人	
総会準備費	1,839,248	女性 288人	
母校寄付金	350,000	寄付金収入	384,500
プログラム制作費	899,642	雑収入	3,717,480
一般会計への繰入	481,280		
合計	9,744,980	合計	9,744,980

〈一般会計〉

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
支部交付金	404,500	前期繰越金	9,372,027
通信費雑費	42,645	年会費	818,500
次年度立替金	800,000	預金利子	8,332
次期繰越金	10,232,994	前年度立替金	800,000
		特別会計より繰入	481,280
合計	11,480,139	合計	11,480,139

次期繰越金

内訳(イ) 百十四銀行東京支店			
普通預金 No. 125044			5,196,548円
定期預金 (通帳式定期)	満期 平13. 9. 7		1,710,431円
定期預金 (通帳式定期)	満期 平13. 6. 14		2,127,143円
定期預金 (通帳式定期)	満期 平13. 6. 14		1,168,550円
(ロ) 手持現金			30,322円
合計			<u>10,232,994円</u>

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金 1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について、監査の結果、適正なる事を認める。

平成13年5月13日

監事 岡内 伸一 (印)  
同 松本 僑子 (印)  
同 鴨田 昭代 (印)

## ごあいさつ



玉翠会 会長  
多田野 久

母校の新校舎建設に伴ってメモリアルゾーンに移植されました、あの「中庭の楠」も、21世紀の陽を浴びて新たな枝葉を大きく伸ばし、高高の第二世紀を、そして、在校生のみならず同窓生の活躍を暖かく見守って来ております。

本日、ここ東京プリンスホテルにおきまして、『温故知新～世紀新たな陽に映えて』のテーマのもと、第19回東京玉翠会総会が開催されますことを衷心よりお慶び申し上げます。これもひとえに会員皆様の玉翠会へのご理解とご協力があり、昭和52年卒業の当番幹事の皆様のご尽力の賜であると、ここに深く敬意と感謝を表する次第であります。

私もかつて東京玉翠会設立のお世話をさせていただきましただけに、年1回のこの総会で、皆様方と一緒にひとときを過ごすことができますことは、この上ない喜びであります。久し振りの再会を喜び、懐かしい故郷や母校の様子を語り合い、また新たな出会いがあったり、親睦をさらに深めることができますことは、我々にとって安らぎとなり、また励ましとなって明日からの大きなエネルギーとなることでしょう。

さて、新しい世紀“21世紀”は予想以上のめざましいスピードで社会が変貌する時代です。IT革命、政治改革、教育改革、民営化、統廃合などと表現されますように、ありとあらゆる領域、分野で既に変化の兆しが現れてきております。このように変貌していく社会に対して、私達は柔軟でスピーディーな対応が求められております。しかし、社会がどのように変貌しようとも、先輩諸士から受け継いできました高中の精神『至誠一貫』と県女の『雪持ち笹』の精神は忘れてはならないものであり、激変の時代においてこそ生きる基本はここにあると思われまふ。母校では、両精神を統合した高高スピリットによる『文武両道』への取り組みが着実に実践されております。同窓会としても21世紀を担う頼もしい後輩諸君の成長を期待して一層の支援と声援を送りたいと考えております。

本日のこの素晴らしい総会が、母校と皆様方を、さらには、皆様方一人ひとりを結びつけながら、ともに新たな未来を築き上げていくことができますよう真に願っております。

最後になりましたが、東京玉翠会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝のほどを心より祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。

## ごあいさつ



香川県立高松高等学校長  
秋山 忠

梅雨の晴れ間の散歩道には、クちなシの花が匂い、アジサイが競い合うように美しく色づいております。七月の風に明るい夏の訪れが感じられるようになり、そろそろ梅雨明け宣言が聞かれることでしょうか。東京玉翠会の皆様方には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例の東京玉翠会総会が第19回を迎え、21世紀の初年を記念して『温故知新～世紀新たな陽に映えて～』のテーマのもと盛大に開催されますことを心から喜びたいと存じます。また、変化・変革の時代と言われる新世紀を迎えたこの時に当たり、新たな思いや願いを膨らませ、自らの取組を確かなものにしていくために「温故知新」のスタンスこそが肝要であるとしていることの高い見識にも厚く敬意を表したいと存じます。さらに、わが高高校歌の歌い出し「世紀新たな 陽に映えて」をサブ・テーマに掲げていることにも大いに共感し、感服いたします。

ここで申すまでもないことですが、本校の前身であります高中の「至誠一貫」と県女の「雪持ち笹」の精神をしっかり培っていくために「文武両道」に果敢に取り組むことが高生のモットーとなっております。その高スピリットに関して、校歌に託した同窓先輩たちの思いや願いをきちんと受け継いでいくことが大切であります。昭和26年生徒・教職員代表による校歌制定委員会は、活発な議論の末、これからの高生のバックボーンとして「揺るぎない向学の念・真理の道を究める意欲・自由と愛の精神」の三点を校歌に盛り込むことを決め、これを高中第35回卒業の河西新太郎氏に依頼して作詞がなされ、芥川也寸志氏の作曲により今日の校歌ができた次第であります。当時、河西先輩は「この校歌を生かすも殺すも、清新澆刺たる若き学生諸君の気迫と熱情とによる」と言い切っております。同窓生の集いで、高らかに校歌が歌い上げられて会が最高潮に達しますと、そこに歌われている精神や訓えは同窓生にとって共通の生活信条となっていることを実感いたします。ですから、生徒諸君が先輩たちの校歌に託したこの思い、この願いの深さを心に刻んで、胸を張って高生の新世紀を前進させていくことができるよう一層指導・支援していきたいと考えております。

高生のこの一年を大きく振り返りますと、先ずは生徒諸君が「高く跳ぶ」という自己実現に向けて主体的に学ぶことを心がけ、学ぶ力の蓄積に努めていることを頼もしく見守ってまいりました。部活動においても、昨年夏の岐阜総体に本校から31名が、秋の富山国体には6名の選手が出演しておりますが、走り高跳びで全国に名を馳せた真鍋周平君と高生応援団を大いに奮い立たせたエース松家卓弘君の大活躍が特筆されます。歳末の恒例行事「第九・歓喜の歌」演奏発表会も、魂を揺さぶる大合唱により、今や高生の顔となっております。

東京玉翠会の皆様方には、今後とも、高生の教育活動に対し格別の御理解・御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。また、東京玉翠会が本総会の御盛會を機に益々発展し、皆様方が御健勝・御多幸でありますことを心からお祈り申し上げます。

## ごあいさつ

～英語の力～



東京玉翠会 会長  
辻 義文

今年も52年卒の植松、合地さん達幹事の皆さんがたのご尽力で総会の準備が進められている。ご苦勞様で厚くお礼を申し上げたい。

同窓会の挨拶とは全く関係ないが、現在必要な人も、これから必要になる人もいるだろうが、今日日本の職業人に求められる英語の力はどれくらいか、に付いて参考のために書いてみた。これは全くの私見であるからその積もりで見てもらいたい。私は、自動車という国際商品を生産販売する会社に長年いたし、経済界でも国際的なお付き合いの多くを経験したが英語の力は0に等しい。この後悔に満ちた経験からいいたいのだが。

会社或いは個人の国際化のレベルは英語の力だけでは解らないと言う人がいる、然しこの力がない時は、先ずその対象から外れると考えた方が良い。重要な会議（外交、国際的経済人会議、企業提携等）に通訳が見つかることが多いが、これは英語の場合、解らないからより、過ちを犯さない為と、考える“間”を作る為と見るべき場合が多い。会談後のパーティには通訳はつかない事が多いが、この時間が大事な場合が多く、相手の本音や、人柄が分かるし、友人も出来る。

そこで必要な英語の力だが

- |                |       |       |
|----------------|-------|-------|
| 1. 普通の会話が出来る程度 | TOEIC | 600以上 |
| 2. これで仕事をする    | 〃     | 730以上 |

これが社会標準だ。これも全くの目安で、800以上の人を集めたが、仕事にならなかった例もある。

そこで、これを習得する方法だが

1. 常識の1つだと考える事。今の日本では未だ自分がその意志を持たないと駄目だ。この点単一言語で暮らせる日本人は不利な気がする。欧州で生活すると、500kmも車で走れば大抵隣国で、言葉も違う。ドイツにいた人はフランス（勿論フランス語）とベルギー（英語でOK）で日常会話が出来ないと仕事にならない様だ。オランダの人は自国語以外に2カ国語は大抵話せる。
2. 私が1番良い方法だと思うのは、上司又は仕事仲間が英語以外は解らない場合の習得が最も効果がある。これも短期で集中的に行う方法がよい。例えば8時間/日を3週間続けると、初期の段階では100くらい点数があがる。国内でやるには相当の努力が要るだろうが、やれなくはない。海外駐在は絶好のチャンスだ。初めの半年や1年は言葉の習得にかけ、仕事は2の次にして良い。必ず仕事の遅れは言葉が出来れば取り戻せる。公費で個人の財産を作っているようなものだ。

物を買に行ったら、相手はこちらが何を求めているかを聞いてくれるから楽だが、売りに行ったらそうはいかない。社内で日本語以外に、英語、フランス語、スペイン語等が飛び交うのは、そう速くない。

## 親子3代高高家族 「4代目も5代目も高高、を楽しみにしています」

2001年5月3日午前10:00～ 高松高校玉翠会館会議室にて

——みなさん、高中、県女を含めた「高高3代」のご家族の方々ばかりということで、さっそくですが、親子3代高高でよかったことを、まずは現役高高生、2年在学中の大石奈緒子さんからお話してもらえますか。

**大石奈緒子** よかったなと思うことは校内実力テストのときです。その難しさを、母もわかっているの、あまりよくない点数であっても「部活やめてしまえ！」とかいわないので、ちょっとうれしいかも(笑)。

**大石伊都子** 自分が3年間バスケットを続けたから、勉強だけじゃなく、やりたいことは貫き通してもらいたいですし。また私自身、実力テストで、これは何点満点かなあという点々をいただいたこともありますし(笑)。

**大石宏司** 卒業の前年までずっと林の飛行場におりまして、授業や全然ないもんで。いちばん勉強したらんのが私(笑)。もう肉体労働ばっかりやから、テストもなんにもない。そういう時代でした。だから、孫にも全然干渉はせん。勉強したかったらすればええし(笑)。

**半田美枝子** 学校の行事ひとつと

っても、昔はこうだったとか、おばあちゃんのときは本当に厳しかったけど、今はだいぶゆるうなってるなとか、孫たちとも話ができる。違う学校に行ったら、そんな話できませんけど、家族全員が同じ高校を卒業しているので共通の話題も多くてうれしいです。

**今澤暉子** 焼け跡の青春でした。体育館を半分に仕切ったところに押し込められて授業を受けてる時も、隣の先生が大きな声を出すと、こちらの先生の声が小さくて全然聞こえない。聞こえませーんって、もう帰るまで怒鳴り続けていました(笑)。一官のほうに分校がありまして、同じ受験で入っても、一年以上一緒に授業することはなかったですね。とにかく幸せな高校生活はおくっていないという変な自負があります。その思いは子供(S58年卒)には通じないし、また高中出身の父親とも全然様子が違うし。うちは3代といても、共通の話題が少なく、みなさんがうらやましいなあと思います。

**伊藤卓子** 家族代々高高出身ということは、表立って自慢はしないけれども、心の中ではプライドはみんな持ってますね。

お集まりいただいた方々(順不同、敬称略)

大石宏司(S22年卒・旧制高松中学)・大石泰輔(S48年卒・県庁勤務)・大石伊都子(旧姓平尾・S52年卒)・大石奈緒子(在学中・高校2年生)、  
半田美枝子(旧姓橋川・S14年卒・晩翠会)・半田史子(旧姓上原・S49年卒)、  
葛原美代子(S13年卒・晩翠会)・飛田久子(旧姓葛原・S36年卒)・葛原由起(S62年卒)、  
三田佳子(旧姓森永・H3年卒)、  
伊藤卓子(S14年卒・晩翠会)、  
脇和子(S19年卒・晩翠会)、  
今澤暉子(S27年卒)、  
井上敬子(S14年卒・晩翠会)

アンケートにご協力いただいた方々(座談会にご出席いただいた方以外、順不同、敬称略)

塩田三和(旧姓佐々木・S19年卒)・塩田邦彦(S39年卒・県立中央病院外科主任部長)・塩田文彦(H11年卒)、  
綾田整治(大正13年卒)・綾田修作(S23年卒・百十四銀行頭取)・綾田裕次郎(S53年卒)、

——今の高高と、昔の高高との共通点といえば……？

**大石伊都子** 制服。校章の雪持ち笹も変わりませんね。県女の時代から高中と一っしょになった、そのプロセスがいまだに残っている。ただし、つける位置が昔とは変わったなと(笑)。低いんですよ。あげろといってもきかない、流行りですから。校章のいわれは、知ってる？

**大石奈緒子** 笹の上に雪が乗っている……(困ったような感じで)。

**脇和子** 笹は雪が積もっても折れないことから忍耐強さを、真っ白な雪は清純さを、緑は若々しさを、それぞれ表わしているんです。

**大石奈緒子** 入学前から両親に聞かされていたので、男女で校章が違う事は別に気にはなりませんでした。

**脇和子** 校章を決める時は、それはもう喧嘩諍論ともめたんです。タイプのまったく異なる高中と県女の校章の特徴を残しつつ、新たなものにするのは誰が考えてもうまくいかなかった。もう少し世代が変われば、その時点で何かいいアイデアがでるのではないかと、とりあえず時が解決してくれるだろうと。でも結局、時は解決してくれませんでした。10年くらい前の生徒会長がよく遊びに来ていて「女子が雪持ち笹をつけてるのはとってもかわいいので、ほくたちは好きだ。だからもうあれは変えてほしくない」

という話も出ました。だから永久に続いていいんじゃないでしょうか。あれが甲子園にはためくと、アナウンサーが喜んで、そのいわれを話してくれるだろうと期待してるんですけどねえ(笑)。

**今澤暉子** それぐらい晩翠会が強いよ。校章をやめたりしたら大変な事になる。ふたつの校章、それぞれに意味がしっかりあるんですよ。いつかはひとつになると希望したけど、結局、卒業50年たってもならない。やっぱり伝統の重みというのは、すごいと思いますよ。

**大石伊都子** 娘には入学前から雪持ち笹よって、校章のことは話していました。私はいまだに持ってます。同じく高高生だった兄のも持ってます。どう違うのかなって、よく家で見比べてたんですが、女の子の校章のほうが大きいんです(笑)。これは、ずっと変わらないよって、娘にいつか話しました。それと赤、白、緑

小河旭(S13年卒)・小河雄磨(S44年卒)・小河昭子(旧姓大井・S49年卒)・小河恵理(H11年卒)

アンケートの回答より

**半田美枝子** 家族全員が同じ高校を卒業しているのは、同じ話題も多いうれしいです。

**井上敬子** 昔の県女の寄宿舎は、お部屋は30平米位の量で6人位の団体生活でした。暖房は火鉢一個、娯楽施設なし(ラジオもなし)。6時起床、9時消燈。ちょっとの外出もすべて許可が必要で、もちろん食堂の出入は禁止。父兄が面会にみえた時のみ父兄同伴で三越食堂のみ許可されました。その時のうれしかったこと。



の学年別のバッジ、一年生が赤、二年生が白、三年生が緑も持ってるんです。それもいまだに変わらない。——校歌に関してですが、若い世代はうろ覚えで、あまり歌う機会がないという話を聞きまして、最近は歌わないのかなという印象を受けたのですが。

**大石奈緒子** 終業式ぐらいですか。あまり歌う機会がないです。

**半田史子** 校歌は覚えています。わりとよく歌ってました。入学してすぐに応援団の応援指導がありますよね。応援歌も練習して、うろ覚えですけど娘や息子が入学して、いっしょになって歌えました。でも、いま子供たちはどうなのかなとは思いますが。

**脇 和子** 週に一回、朝礼で歌ってました。曜日が決まっています、一生懸命歌いました。

**葛原美代子** 月曜日でした。土曜日が「見れども」。

**伊藤卓子** 「見れども」は頭に染み込んでいて、同窓会では必ず歌います。法事でも、一族郎党、みんなで歌っております(笑)。

**飛田久子** そういえば県女の方のお葬式に参列したとき、同窓生のみなさんがお棺のまわりに集まって歌ってらしたのを見ました。私たちの時は、野球部が四国大会に出場しようかということがあって、燃えてましてね。毎日、カキ氷かじりながら中央球場へ通って。だから応援

や文化祭で、何度も歌ったことを覚えていてます。

**大石奈緒子** 近々ある体育祭では一応、歌います。

**大石宏司** 私の時代は、校歌よりも軍歌でした(笑)。

**三田佳子** 私たちはあまり校歌を歌った印象はないです。葛原さんと祖母が同級生なんですけど、ほんと、よく覚えていてますよね。私も覚えている事は覚えているんですが。

**葛原美代子** いつでも歌えます(笑)。

**三田佳子** 84歳の親戚のおばあちゃんも、祖母が歌うといっしょに、あー歌うねって。

——先ほど、新しい食堂を見てきましたが、ずいぶんと広くなりましたね。

**大石伊都子** メニューはずいぶんいいそうです。

**脇 和子** 私のころは食堂がありませんでした。娘(S41年卒)はいわゆるベビーブーム世代。ひと学年1000人ぐらいいまして、お昼になると生徒がわあーと県庁や市民会館の食堂に押しかけるもので苦情が出まして。自粛してほしいという話が県

庁からあったんですけれど、3000人近い生徒がひしめいてましたか

小河旭 校歌は今でも忘れない。在学中、ある祝日式場でわざわざ騒いでいた時、当時の根津教頭が突如校旗をつかんで「静かにしろ。これが中学生の秩序ある態度か!」とどなられ、一瞬みんな静かになったことが思い出される。

小河恵理 校歌はあまり覚えていない。歌えといわれても歌えない。

塩田邦彦 校歌の自主独立のほこりありというところは、今の子供達の時代にも校風として受け継がれていて素晴らしいと思います。

塩田文彦 校章が2種類のちがうやつがある。めずらしいので残してほしい。



ら、学校も黙認してたようです。

**大石泰輔** 今でも県庁の食堂には多いですよ、お昼。制服着てくるけん、すぐわかる(笑)。

**葛原由起** 私のときは出たらいけないって、すごくいわれてました。

**伊藤卓子** 私のときは、食堂を作りたいと何回も学校に申し入れても、全然、受け入れてくれませんでした。

**三田佳子** 外出が許可されていたかどうかは覚えてませんが、数学の先生が「市役所の食堂はええぞ」と、「みんなにおすすめだ。先生は週の半分、食べに行ってる」とか言ってましたから、出てもよかったんかなあとと思いますね。

——ところで、新校舎になる前の校舎は県女のものを長年使っていたんですよね。

**脇 和子** そうですね、上に一階分継ぎ足して使ってました。14年に県女に入りまして、2年生のときにその新校舎ができました。

**半田美枝子** よかったね、新築で(笑)。

**伊藤卓子** 4年生のときに、県下で一番古い校舎から、一番立派な鉄筋コンクリート三階建ての新校舎へ移りました。みんなうれしくて、毎日、廊下をぬか袋で一生懸命磨きました。

**今澤暉子** 私たちが3年のときに県女と高中が統合したんです。高松高校1年ですね。さあ男の子が

入ってきたんですが、それこそ土足以外のなにものでもない。もうぐちゃぐちゃにして。山西先生というとても厳しい先生がいらしたんで、きれいにお掃除しようとするんですが、男の子はね、バケツの水をパーッとまいて、それですんだいうて帰るんです。もう涙が出ましたよ。女の子がいくら掃除しても追いつかないんです。統合してからはメチャクチャでした。

**伊藤卓子** 娘の在学中(昭和42年卒)、PTAの用で学校へ行くと、みなさん土足で歩いていてね。床が黒く汚れてひび割れしていたり、壁に穴があいたりしているのを見て、時代を経たものだなあと感無量でした(笑)。

**今澤暉子** 今の校舎になるときに移転の話もあったんですが、知事に日参してやめてもらった。ここの土地に行くわけにはいかんという、強い思いが晩翠会の方たちにありますね。

**大石泰輔** 移転の話があったとき、もっと広々として騒音の少ない、いい環境で後輩たちが勉強できれば

ええんとちゃうかなあと思ってたんですが、今日、先輩方のお話を聞きまして、ここの環境で後輩たちが勉強できればいいんじゃないということがよくわかり

綾田整治 校舎は今の高松工芸高校の場所にあった。また、校舎に隣接して寄宿舎があり、60~70人の学生が寝泊りしていた。私も実家が長尾であったため寄宿舎から学校に通っていた。

綾田修作 昭和20年7月の高松空襲で学校も家も全焼。以後落ち着いて勉強した記憶がない。戦後は岡本の川岡小学校の体育館を仕切り、授業をしていた。

小河雄磨 油で黒くなった床、すりへって木のフシが浮き出てキシキシになった。男子トイレは姿勢を正さなければ用が足せなかった。



ました(笑)。

——昨年から、修学旅行も飛行機で行くようになったようですね？

**大石奈緒子** 去年も今年も北海道です。高松空港から千歳空港まで行って、そこで3つか4つかのコースに分かれて。グループ行動もあります。

**伊藤卓子** 私たちの14年だけ修学旅行がなかったんです。残念でならないです。まあ、それを埋め合わせるため、だいたい日本中に行きました。でも、やっぱり修学旅行はねえ、行きたかったです。

**葛原由起** 祖母が今でも修学旅行の思い出を語ってくれるんです。

**伊藤卓子** こちら(葛原美代子さん)は、なんかもうすごい豪勢なねえ、1年違いなのに。

**飛田久子** 東京のほうにも行けたし、軽井沢や京都のほうにも行けたし。

**葛原美代子** 11日かけてまわったんです。

**大石宏司** 私はね、小豆島でした。寒霞溪に行って。もちろん日帰りでした。修学旅行いうたんかな(笑)、卒業の前に行ったからね。

**大石奈緒子** 今は、どこに行くかは選べます。生徒に人気があるのが北海道で。一応、アンケートをすると、信州や沖縄と並ぶ中で、北海道がいつも人気になります。

**三田佳子** 私の時は東京です。そこから自由行動でした。

**葛原由起** 私たちも東京でした。

ドームじゃなかったんですけど日本ハム対南海を見に行きました。日ハムはオーナー(大社氏)・球団社長さん(小島氏)がOB、南海は監督さん(穴吹氏)がOBだったので、どっち座るのかなって思ってた、やっぱり日ハム側でした。

——最近は65分授業だそうですね。どういう感じなのか教えてください。

**大石奈緒子** 65分授業が2時間あって30分の休み時間。続いて65分授業があり、また30分休み。それからもう1時間授業があって終わり。最初の休み時間は11時5分ぐらい。早めの昼休みみたいな感じです。次の休みはだいたい13時ぐらい。前の休み時間に昼食を取れなかった人は、お弁当にしたり食堂に行ったりします。予習などをしている人もいます。

——だいたい昔とは変わっていると思いますが、みなさんのころはどうでしたか？ どんな思い出がありますか？ あるいは当時見ていた夢などをお話いただければ……。

**大石宏司** 私の時代は65分もクソもなかった(笑)。朝行ったら、晩帰るまで肉体労働や。

**大石泰輔** 1回も、授業しとらん？

**大石宏司** 1年のときに私、高知におっ

**綾田裕次郎** 私の娘は今中学に在校のため高入学を勧めてはいるが、2年前の定員割れだった入試のことが頭にあるのか「高松高校って誰でも入れる高校でしょ」とぼけたことをいっている。

**塩田三和** 私の県女時代は激しい戦禍の真っ只中でした。国を挙げて国難に立ち向かう時、学業の犠牲は致し方ないことでしたが、学校の“上層の子弟教育”の気概というものは昔も今も一貫して変わりないと窺えます。また私達世代が何かにつけ頑張る、辛抱強い、反面頑固なのは、この頃に培われたものかもしれません。



たんです。それで高中に転校して。鉄砲をいっぱい入れてあるところの隣に、ひと部屋だけ教室があって、そこで半年ぐらい授業受けたかなあ。それから空襲で部屋も焼けてしばらく授業もないし、私は家が空襲から焼け残ったから、家から香西の分教場まで毎日、わらぞうり履いて通いました。分教場いったって、教科書は焼けてないし、ノートや使うた記憶さえ、ないですわ。

**今澤暉子** なかったですね。私も、全然なんにもない中で、県女に行っていました。

**大石宏司** 私はまだ家が焼け残ってるから、着るもんなんかはなんぼかまだ家にあるけど、空襲で焼けたらホンマ、なんにもない。

**葛原美代子** 3年生だったか4年生だったか2.26事件があったんです。先生が急におらんようになって、暗い教室で長い事、待たされたことを覚えています。とにかく時代は戦争一色でした。1年のときからピンポン部(卓球部)に入ってたんですが、それもできないようになってしまっ

**井上敬子** 私は葛原さんの1年下ですから、もう戦争一色でね。慰問袋や病院の白衣をよく縫われました。将来のことは考えた事もなかった。目の前が戦争でしたから。青春時代はなかったですね。それと大阪の学校に上がったときに、あまりの自由さ、まわりの華やかさに、

あらためて県女は校則の厳しい学校だったんだなあって驚かされました。とにかく厳しくしつけられましたから、今の人たち、特に孫たちの行動がちょっと理解できないですね(笑)。だけでも時代やから、これはこうかなあと、自分に言い聞かせておられます。孫たちに話しても昔話としか聞いてくれませんしね。

**半田美枝子** 私らのころは女学校から上へ行くことがほとんどなかった。なにに女学院とか、あと女の子が行けるのは、女子医大とか女子薬科とか。女子という名がつくそんなところへ行った方も何人かはおありになるけど、たいていは卒業したらお稽古して、結婚しているのが通り相場でね。入学したころにはなんとも思っていなかったのですが、学年が進み4年生、5年生になってきたら、これでは物足らんなあって思ったりもしてね。でも、結局、昔からあるコースどおりでね。それがよかったのかどうか。

**脇和子** 戦時色の強い時代でしたから、在学中の夢といっても個人の考えというのは非常に希薄で、とにかく日本を勝たせたい、日本のためになる仕事をしたという思いが強く。個人差はあるでしょうけれど、良妻賢母の教育はされ

**塩田邦彦** 母の実家が紺屋町にあり、そこに下宿しており、こっそりライオン館に映画を見に行っていました。映画監督になりたいので日大芸術学部に行こうかなどと思いましたが、外科医者の父に3年の時医者になるかといわれ、免許を持つ仕事が将来はよい、と医学部を受験しました。外科医師として29年経過。今は香川県立病院で頑張っています。

**塩田三和** 姑、塩田清子も県女(大正5年卒)でした。古い時代に高等の教育を受けたことを大いなる誇りとし、小豆島の発展に意欲を注いだ女丈夫でした。





たものの、結婚はもう二次的で、とにかく勝ちたいと。だから、その挫折感は大きくて、同級生はだいたい戦後すぐに結婚しました。家は焼けるし国は負けるし、自由な思想というのは入ってきていないから、あんまり歳がいかないうちに行けるところ行こうという人が多かったんです。

**大石宏司** 東大志望の学生だけ、毎日、お茶焚き当番というて、お茶沸かしながら勉強。こっちは肉体労働でどんどん汗流しよる。妙な学校だなあと思ってた(笑)。

**三田佳子** 高高三代は大物になれちゃう人は大物になるし、変わり者はとことん変わっている。そういう人の集まりやというのがあるみたいで(笑)。

**大石伊都子** 小学校高学年のときから体育の教師になりたいという夢がありまして、高校では3年間、バスケットだけしました。保健体育課に進み教員になり、夢は実現しましたが、今の学校は問題が山積みで悪戦苦闘の状態です。

**大石泰輔** 70年安保、学生紛争の最高潮のころで、高高三代もバリケード封鎖したり、世の中が体制に反発する雰囲気になりまして。大学のほうがまったく違った世界に入りましたから印象が強い。正直いって、あんまり高高三代にいい思い出がないんですよ。

**脇 和子** 私たちの時代は、女学校

というのは実家みたいなものでね。それこそ母の時代に比べるといくらかは希薄になってたかもしれませんが。

**伊藤卓子** 母校を思う気持ちは、私たちが一番強いですね。

**脇 和子** 高中より県女のほうが母校愛が強いのは、女子は上の学校に進む人が少なかったでしょ、男の人は旧制高校行ったり大学行ったりで、最終学校のほうが懐かしいというのがある。それと昔は5年制でしたでしょ。毎年組替えがあって、卒業までにはたいてい同学年の人は誰を見ても知ってるというくらいの親しさもできてきます。3年間で、同学年の人、全部と親しくするのはほとんど不可能でしょう。今の高高三代は通過していくひとつの過程であって、今の人たちに私たちの時代の気持ちを押し付けることは絶対にできない。それはもう仕方がない事ではないかなと。

**伊藤卓子** 今年で80歳になります。娘やら孫に夢を託したいと思っています。私の両親も高高三代だったので今、高高三代。娘がおりますもので、次、五代目ができるんじゃないかと、それだけを楽しみにしております(笑)。

——そのときは、またあらためてお話をおうかがいさせていただきます(笑)。

**小河旭** 親子3代高高三代を卒業できたことは何か家として幸せなことと心暖まります。

**小河雄磨** 運良し。

**小河恵理** 特に何も思わない。

**塩田文彦** 特に意識はしていなかった。親子3代であることも知らなかった。驚いているし、すごいとも思っている。

みなさまのご協力、本当にありがとうございました。紙面の都合で、座談会やアンケートでお伺したお話の10分の1も掲載できなかったことを深くお詫びいたします。

温故知新 世紀新たな陽に映えて

## 文武両道に発展を望む

昭和7年卒(高中37回生).....

春山善良

玉翠会々報を拝見すると、現在高松高校は有名大学への進学率は全国屈指の順位にあることは卒業生として同慶の至りです。然し一寸淋しいことは運動の部門に於てあまり花々しい活動を見聞きしないことです。

私の在校間、野球部では梶原英夫、三原脩先輩が甲子園で活躍し、柔道部では有馬先輩らが全国制覇を成し遂げ、剣道部門で私の卒業後、昭和九年同期の藤本薫氏が天覧試合で惜敗したとは云え両刀使いで勇名をはせ、また排球部の中村治朗先輩は東大を経て最高裁判事となり、また同じく排球部主将として活躍した日本ハム社長大社義規氏も小生の同期生である。また同期生で東大に進んだ柏原勝氏も東大時代、短艇部員としてオリンピックで活躍するなど枚挙に遑がない。

殊に私の尊敬措くあたわざる所は、野球部の梶原先輩は野球部の練習のため、毎夕おそく迄時間をさきながら、一高、東大へと進まれ、東大でも投手として、異例の好打率を残しておられる。天性のかくあらしめた所とは申せその努力は並大抵ではなかったものと思われる。

文武両道が望ましいと標題に記したが、昔から二兎を追うものは一兎を得ずの諺もある。その点は自らの力を判定して決めるべきだ。松戸の陸軍工兵学校で終戦を迎え、現在も松戸に住み、同じく松戸在住の幹事植松氏におあいできたのも不思議なめぐりあわせだ。



写真は筆者

## 母校の傘のもとで

昭和6年卒（県女）

鎌田三恵子

今年の桜は一気に咲いた。市街を縦横に走る街路樹の桜並木です。<sup>くにたち</sup>国立に住みついてもう三十年、直径十糎位だった若木が今は三十糎～五十糎程の老木である。この時節がこの街の一番華やいだ美しいひととき。此の桜を果して来年も見ることが出来るかの感慨しきりです。八十七年の歳月の経過の早さに今更の如く驚きます。

今年度玉翠会総会幹事の田中信重氏より会誌今年号への寄稿を依頼されたのだが、テーマは「温故知新－世紀新たな陽に映えて」とある。世紀新たな…は高高校歌の歌い出しで、奇しくも新世紀にマッチしている。

此の作詞者川西新太郎氏は私の一期上の昭和五年高中卒。同期の成田知己氏の選挙運動でトラックに乗られていた姿が目につく。その頃だったか此の校歌が生まれたのです。氏は既に鬼籍に入られている。

私を育ててくれた高女時代は僅か五・六年（補習科を含め）だが、此の時代に得たものは大きく、誠に至福の時だった。昭和六年頃からはもう満州事変が始まり、日中事変、第二次大戦へと長い戦争に突入、敗戦、続いての戦後は人一倍の過酷な苦勞を享受した。それでも小学校以来十一年皆勤の頑健な身体と修身で叩き込まれた「身を殺して仁を成す」的精神的鍛練に支えられて超えられたと思うのだ。

兄弟五人、私と妹、兄嫁弟嫁甥娘三人は皆高中、高女、高高に当然の様にお世話になった。そして玉翠会員という訳です。在高中の大方の年月は晩翠会の幹事で「雁の便り」という級友の近況が編集され、年一回タブロイド版で発刊されていてその原稿作り、最初の校舎改築の折は一口十円の寄附金集めやクラス会のお世話などして、上京以来四十年余も陰乍ら東京支部と関わって来た。年一回の晩翠会総会は楽しいものでした。当初二十数名いた同級会も今年では会費九名分の納入です。年老いて全く惨澹たるものとなりました。

春は瀬戸内の鯛鮓、琴平辺りの掘り立ての筍、秋は松茸を焼松にすき焼にと存分に味った。海の幸山の幸を共有してグルメに育った

私達、又特殊な高松弁でしゃべり合った仲間です。末永く仲良くや  
って行きましょう。輝く伝統ながい玉翠会の、益々の御発展を願  
い  
つつ擱筆いたします。僅か一枚見付かった当時の恩師の方の記念写  
真を添付させていただきます。



昭和6年卒業時の恩師、高松高女正門前にて

## 高松高女を誇りに思う

昭和11年卒（県女）

岡（旧姓 久本）式子

私は高松高女の昭和十一年（1936年）卒業で、八十二才の現在でございます。振り返りますと、私共の年度は昔から仲良く、まとまりもよくて、二年に一度のクラス会旅行を、四十年位前から始めました。昨年は東京在住組がお当番で、初秋の頃、箱根に二泊致しました。今年は五月の末頃に、高松本部の方で、最後のクラス会打ちあげ会が開かれることになっております。高年齢になりますと、だんだんと参加者が少なくなつてはきますが、最近是一年に一度の旅行を目標に、体調を整える張り合いと楽しみがあります。今年は卒業後六十五周年の節目に当たりますので、同期の桜でなくなりましたクラスメートのご供養をかねて、高松の料亭二蝶（大女将の徳永ミチエ様は同期生）をお借りして、同期の喜岡ツヤ子様に読経を頂くことになっております。これもすべて高松の役員の方々がよくお世話を下さるおかげと感謝しています。

さて、おぼろげながらの記憶をたどり昔に戻りますと、私共の在学五年間はそろそろ戦争の気配が感じられる頃ではありましたが、それでも動員等もなく、平和な恵まれた時を過ごしました。太鼓橋をくぐり抜けて毎日通学しました。その校舎が古くなって、改築のための募金集め等がはじめられていました。

学校の教育方針は、良妻賢母型を目指したもので、教護連盟などというお目付け役もいて、映画などは見にも行けませんでした。もちろん夜の一人歩きの外出は禁じられていました。

先生方は立派な人格者揃いで、程度の高い教育を受けさせて頂いたと思います。卒業後クラス会などで会う友達と、「ワンの基礎学力の高さは誇っていいわね。」と話し合つて感謝したことでございます。念のために高松高女の制服にはスカートに一本白い線がはいついたためワンと呼ばれていました。

学力と共に体力を鍛えることにも先生方はご熱心で、春・秋には長距離遠足といって、全校生を特隊組・一隊・二隊・三隊と分けて、愛媛県との県境あたりまで歩かされました。

運動部の活動も、卓球部・庭球部・排球部・籠球部と黄金時代で

した。卓球は全国優勝。かく申す私も籠球部で、明治神宮外苑の全国大会に出場の榮譽を得ましたが。尤もこの方は残念乍ら三回戦で敗けました。

一方、しとやか教育として、和室の晩翠堂で、お茶の袱紗捌き等、痛い足をさすり乍ら教えられましたことも懐かしく思い出します。

女性ばかりの学校でしたので、高中とのおつき合いなど皆無で、高中校舎の前を通る時は、道の反対側を走るように歩きました。当時には、今の男女共学など考えられませんでした。この年齢になって、玉翠会総会で、昔の付属小学校時代の男友達と会って、昔話を楽しむなど全くうそのようです。

最後に、今年も高松高校のお当番の皆様のご苦勞に心より感謝いたします。どうぞついでに、高齢化した晩翠会の引き継ぎのお世話の方もよろしくお願い申し上げます。



昭和9年頃の  
籠球部、高女校庭にて



平成12年10月箱根のクラス会

## 意味のある生き方をいま自分に問う

昭和17年卒（高中）

辻部俊介

総会のテーマ、後半のサブタイトルは情緒にすぎるが、21世紀初頭に「温故知新」を選んだ今年の幹事団の皆さんに賛意と敬意を表したい。

かつて私は在職時代に、あるセミナーの講演でホンダ技研工業の当時の社長から、同社が数々の新製品を出すのに成功したエピソードをうかがったことがある。それは、創業者の本田宗一郎氏が部下に、新製品の設計・製作にゆきづまったときは過去の製品をはじめからもう一度なぞってみろ、ヒントはかならず見いだせる。新発想は過去にこそひそんでいる、と助言してそのとおりに成功したという。これはホンダの創業者が読みとった「温故知新」ということができようか。

さて「古きをたずね、新しきことを知る」という、総会のこのテーマに則して私自身を問うてみると、意味ある生き方としていま何が読みとられるであろうか。

私は1924年生まれ。1931年小学校入学時—のちに日中戦争に拡大する満州事変の勃発、さらにアジア太平洋戦争（戦中は大東亞戦争の呼称）にいたる15年戦争と、ずっと戦争の申し子の経験をして成長した。学校時代の教育をふりかえると、幼いときから天皇の御代の長久をねがう「君が代」を四大節式典には登校して歌い、“進め一億火の玉だ”などのスローガンのもとで、軍隊が自国領土外で戦う国家の旗印としての「日の丸」をつねに意識して育ってきた。そういう国情のなかでは、個を没する修身教育、天皇と国家のための死こそ男の名誉とする軍国・皇民教育一色であった消息があざやかに思い浮かぶ。このような教育は小学校のときから刷り込まれていたもので、<sup>なかちゅう</sup>高中時代多少自己と時世に不安をおぼえるようになっても、世のなりゆきのままにさほど疑問をもたずに過ごしてきたのではなかったか。そして進学後入営を経て戦後をむかえ、半世紀以上がすぎた。

このように、もはや過去のあの戦争の経験を顧みるとき、私が心に期しているのはこれを反面教師として、さきの大戦に没した先輩・

友人の死を犬死に終わらせてはならないという課題である。私にとっての「温故知新」とはこれであろうか。それゆえ、憲法の前文を前提とする不戦・非武装の第九条や教育基本法などにしっかりと足を置き、この廃止や改正勢力に対抗するための市民平和活動に、励んでいるのはそれだからである。

（注）四大節とは、四方拝（元旦）、紀元節（2月11日、神話の神武天皇即位の日）、天長節（4月29日、昭和天皇誕生日）、明治節（11月3日、明治天皇誕生日）、元旦を除いていずれも天皇家に因む祝祭日であった。



1941年秋（米英相手の戦争開始直前、みんな無邪気に笑っている）卒業を翌年にして、同じクラスのクラブ活動有志の記念写真。

当時の軍隊使用・38式小銃を用いた軍国を象徴する射撃部などもあった。ふざけてつけているサーベルや鉄兜も、軍事教練用に学校に備えられていた。

玉翠会ではお馴染みの大西潤甫前会長（後列左から3番目）、松野隆明旧<sup>たかこう</sup>高高教員（後列右から4番目）の顔も見える（野球部）。後方は旧高中講堂。（前列右から3番目が辻部氏）

## 故郷の匂い

昭和26年卒

河江一仁（作曲家）

中国山東省の青島（チンダオ）で、日本中学校一年生の夏休みに終戦を迎えた私は、翌二十一年の年明け早々に母と二人で父の出身地である綾歌郡陶村の伯父を頼って引き揚げ、早速、高松中学へ転入の手続きをして近くの川岡分教場に通うことになった。その後、学校制度の改革で自動的に高校生に昇格したが、集中的に音楽の勉強をすべく高二の秋に同じ県立の小豆島高校に転校し、現在も歌い継がれている同校の校歌を在学中に作曲してそれを置き土産に卒業した。そんな訳で、私が讃岐の地で過ごしたのは、後にも先にも引き揚げてからこの小豆島へ移り住むまでのたった三年半だけだった……と、いうことになる。

高校卒業後上京して念願の東京芸大音楽学部作曲科を卒業した私は、そのまま東京に住み着いて作曲、編曲、指揮……等で生計を立て、すっかり東京人と化して十数年を過ごしているうちに、例えば長期の演奏旅行からの帰りに列車が東京に近づくにつれて車窓から漂ってくる当時のあのスモッグの匂いに安堵と懐かしさを覚え、自分の体臭が滲み込んだベッドへ潜り込んだ時のように、あゝ帰ってきたな……という実感さえ味わうようになっていた。

そんな或る日、奮発して初めて飛行機で帰省したことがある。三十数年も前になるだろうか……。当時の高松空港は平成元年十二月に今の香南町に引っ越す前は市の中心からほど近くにあり、通称「林の飛行場」……と、呼ばれていた。知らない人が聞くと機体が木の枝に引っ掛かりそうで物騒な名前だが、別に鬱蒼とした林の中にあつた訳ではない。話は飛ぶが、同級生達の話に拠ると、この飛行場は戦時中に動員された彼ら中学生達によって作られたものらしい。而も総てが人海戦術で、土をいっばいに盛ったモッコの荒縄に棒っ切れを通してそれを前後二人で担ぎ、広い敷地を端から端まで歩いて運ばされたが、それも、計画性がなかったのか、測量機器が不完全だったのか、昨日運んだ土を今日はまた元の場所へ運び戻す……などということが日常茶飯事だったので、呆れてものも言えなかった……と、こぼしていた。また、空港の職員達は偉そうな顔をする

ばかりでなく俺たちから空港使用料まで取っりよるが、一体、誰がこの飛行場を作ったと思ひよんかいの……などと、ほやく者もいた。

話は戻るが、その飛行場に私を乗せた[Y S-11]機は無事着陸し、ターミナルへ移動し、停止し、プロペラが止まり、ドアが開けられ、タラップが引き出され、やおら案内があつて数十人に続いてゆっくりと私はタラップに立った。

その時である。私はハッと息を飲んだ。時は正に初夏……。左手には紫雲山が聳え、右手遥かには屋島が霞み、田植えもすっかり終えた飛行場の周りの田圃は一面の緑に覆われ、折からの太陽にむせ返るようである。この草いきれ……。この熱気……。この眩しさ……。それらの情景は恰も殆ど忘れかけていた記憶を是が非でも私に呼び戻させるために取って置きの役者を勢揃いさせたようだった。

体の総ての細胞が昇華してその景色の中にスーッと吸い込まれていくのを覚える。私がこの地で過ごしたのはほんの僅かな年月ではあつたが、考えてみれば、父の親達も、その親達の親達も皆んなこの地で生まれ、この地で暮らし、この地で死んでいった。即ち、此処が間違いなく私のルーツである。目にするものの総て……。例え路傍に転がっている小石でさえ血を分けてくれた先祖たちも同じものを見ていたかも知れないのだ……。

大きく胸を張って心行くまで深呼吸をした。あの煤煙臭い東京の匂いが何んで安堵の匂いなものか！ 今、私を包み込んでいるこの匂い……。この匂いこそが間違いなく故郷の匂いである。

## コーラスとともに

昭和27年卒

箕岡慶子

思えば玉翠会には、私の祖母大山ヒサが、明治32年高松高女の第6回生として卒業以来、両親、兄弟、親類などが学び舎として巣立ってまいりました。空襲など戦後の混乱期に女学校へ入学し、途中学制改革で高校二年生になるまで下級生のいない甘えん坊の学年でした。女学校に入って音楽の安藤国夫先生指導の、上級生のコーラスが全国大会へ出場したりで、素晴らしい音楽部にあこがれコーラス部に所属し、高校になっても歌っていました。大学受験の時、家の経済は戦後の荒波にもまれていた状態でどうい大学など望むべくもないと思っていましたが、祖母がこれからは女性も学問し、手に職をつけることが必要と、しぶる父を説得してくれ、一回だけの約束で大学受験を認めてもらいました。今思えば、祖母は家業の煙草産業を手伝い、祖母の父に頼りにされ女学校へ行く時間が勿体ないと反対される中を押して、まだ始まったばかりの女学生となった人でしたので、その祖母の思いを伝えてゆきたいと思います。私も歌好きの近所の人達とコーラスを楽しんでいますが、去年30周年コンサートを横浜で行い、同級の二七会の方々が大勢応援にかけつけて下さりとても温かい友情をいただきました。そして夢にも考えたことのないドイツ公演にも行ってしまいました。平均年令63才の素人集団でしたが、続けることで年令に関係なくそれなりの希望をもつことが出来ると思えました。これからも夢をもち続けたいものです。



横浜のコンサートに応援に来て下さった二七会の方々（敬称略）  
後列右より箕岡慶子 井上和子 大林治子 永野精子 板野芳子 吉田良子 木下治代  
前列右より北村ミチ子 仲野敏生 寺主周子 田淵富美子 平井佐代子 池田倫子

## 旧校舎と楠

平成4年卒

東野伸也

私たちの代にとって、最も大きなトピックとなったのは、旧校舎から新校舎への建て替えと楠の植え替えでした。私たちが高高2年生の時に校舎の建て替えが行われ、新旧両方の校舎を経験した者として、語らずにはられません。

歩くと必ずぎしぎしと音のするうぐいす張りの（もちろん真ん中がへこんでいる）階段と、文化祭のお化け屋敷では迫力を増す、校舎全体の古い趣。また今のエアコンが効いた校舎からは考えられない、夏、蒸し暑くて、冬、寒い、否が応でも生徒をたくましくする環境。全てが今では記憶の中のみですが、高高で育てられた誇りと共にみんなの胸にあると思います。

校舎建て替えと同時に行われた楠の植え替え（現在は校庭の北東側にあるはず）は、当時のOB・OG、生徒、先生方、誰もが不安と共に反対の気持ちがあったと思いますが、楠のロケーションから植え替えはもはや必然となっており、植え替えには万全の配慮が払われました。いまだに当時の中庭全てを包容するような勢いと、その楠の下で行われた幾多の告白（噂話）が懐かしく思い出されます。

高高生みんなが、あの当時の楠のような隆盛を目指し、また誇っておりますように。

温故知新く世紀新たな陽に映えて

温故知新く世紀新たな陽に映えて

## 師と詩そして死

昭和36年卒  
村尾国士

バスが「高高前」に停まる。生徒たちが降りたあともそのまま乗り、丸亀町で下車。喫茶店に入り、タバコをふかしながらノートに詩や短歌を書きつけ、やがて映画館にもぐりこみ、暗闇のなかで弁当をかつこみ、授業が終わる頃にやっと登校。学生服の前ボタンを外し、肩を揺すりながら廊下を歩き、体育館に直行して柔道の稽古。

高高生にあるまじき何とも厄介な生徒、それが十七歳の私だった。某校の番長と決闘のまねごとをするかと思えば、好きな女の子への恋文を手渡せぬまま、毎日書き直したり、要するに、自身にも分からない熱に浮かされた十七歳だった。昨年、「キレる十七歳」が社会問題になったが、キレても不思議でなかった私がそうならなかったのは、詩があったからであり、さらに、それを語れる師と友がいたからだと思う。

英語担当の西村先生は大学を卒業してすぐに高高に赴任、年齢も近く、兄貴という感じだった。幼稚園の宿直室に下宿しており、初めてその部屋を訪れると、壁に「I'LL WONDER TILL I DIE」と書いた紙が張られ、真中に登山ナイフが突き刺さっていた。グサリときた。先生はぶっきらぼうにタバコを差し出し、たがいにふかしながらリルケや中原中也の話をしたのを覚えている。

それからというもの、時折、喫茶店で詩の話をしたりするようになったが、そこへ加わってきたのが同級生の中川和洋だった。仇名が「ゼンガクレン」の中川は詩よりもっぱら革命を語った。私と彼の議論を、西村先生は目を細めながら聞いていた。六十年安保の年だった。全学連が国会内に突入し、女子東大生が殺された。中川は学校をサボって抗議ビラを瓦町の駅前で配布、私は喫茶店で詩を書いていた。その何ヵ月か後に発行された学内誌に、中川の過激なアジ文と私の退廃的な散文詩が掲載された。職員会議で問題になり、西村先生が弁護してくれたという噂を聞いたが、先生自身は何も口にしなかった。

やがて卒業。中川はマル経の牙城・法政大学に進学し、自治会で活躍。私は明大で演劇にのめりこみ、唐十郎の状況劇場結成に参加

したりした。道は異なったが、たがいに気になり、年に何回か会っては徹夜で話し込んでいた。その中川が死んだのは、大学を出た翌年だった。町医者 of 処置ミスによる腹膜炎だった。1ヵ月ほど前に会ったとき、「大学院に入って本格的に経済学を勉強したい」と目を輝かせていた。それを思い出しながら私は、呆然と死顔をみつめるばかりだった。

その頃週刊誌記者として、芸能スキャンダルを追う日々を送っていた私は、中川の死の半年後、退社した。郷里の西村先生の訃報を耳にしたのは、それからまもなくだったろうか——詩の季節が終わったと思った。

筆者プロフィール  
明治大学文学部卒業、週刊誌広告、状況劇場演出家、放送作家などを経て、現在ノンフィクションライター。  
主な著書に「ナンノ志」（ごま書房）、「たったひとつの命かざって」（現代書林）、「メイド・イン・南米」（近代文芸社）、「現代の肖像」（共著・朝日ソノラマ）など。近刊「比島決戦」（学研M文庫）。



高高3年生の文化祭演劇発表後の記念写真。  
中列左から2番目のワイシャツ姿が筆者。  
前列左から3番目の牧師姿が現高松市長 増田昌三氏

## 受け継がれるDNA

昭和46年卒

土居洋文

私は昨夏、今の会社を設立するために前の会社を辞めた。ある意味では前会社のリストラ策にのった。なにしろ、私の研究分野が会社の本業とは関係ないという理由で、目標管理評価制度なる人事制度での評価を下げられ、低い評価を何年も耐えた人達で作った会社である。本業と関係があってもアンフェアな理由で評価を下げられた人達も集まった。したがって結束も強固で、実力のある人達の集団は、いらぬ重しがとれたことによって思わぬ力を発揮する。

今の会社の名前はセレスター・レキシコ・サイエンシズ(株)。バイオの業界では、少しは有名であって欲しい、と願っている。カタカナ名ではあるが、「神聖な天(宇宙)の辞書の科学」という意味もっている。

ところで、ここ2年間でヒトゲノムが米国の大型ベンチャー、セラ・ゲノミックスによって解明され、それに刺激を受け以前から公費によって進められていた国際コンソーシアムでのヒトゲノム解析も進んだ。結局アカデミックには両者が同時発表ということになった。21世紀に入った直後の今年2月のことであった。

御存知のように、ヒトゲノムDNAはA、C、G、Tの4文字でコードされたヒトの体に関する情報である。DNAでコードされる蛋白質も20種類の文字で表現される。セレスター・レキシコ・サイエンシズ(株)はこれらの文字列を言語に見立てハイパフォーマンスな計算機を使って解析し、バイオ実験を行ってビジネスをする最先端の会社である。

さて、三十数年前を思うに、この会社の源は私の高高時代にある。私は今は無き理数科1期生であった。いろんな先生方と知り合えた。先生方も気合いが入っていて、例えば、当時は高高1年生の時に生物学が必須であり、カリキュラムの順が逆じゃないか、と思える程の高い内容が授業された。これに反発して生物学では非常に低い点数を頂いた記憶がある。2年生の夏休みに私は重大な経験をした。これも今は無き壊された校舎の化学実験室で、クラブ活動の最中に小さな事故があり、入院生活を余儀無くされた。退院後も半年間は

両手に包帯を巻いていた。入院中、中卒で準看護婦として働いている同年代の女子を見て、人生観が大きく変わった。模擬試験などの順位には気をやらなくなった。気になるのは自分の体の変化であり、本来生物学は好きであったため生き物の体の仕組みについてであった。そのためか、2年生後半から3年生のとき授業中に、分子生物学者ステントの著書「進歩の終焉」(みすず書房)やノーベル賞物理学者ハイトラーの「科学と人間」(みすず書房)を読み、改めて生物学の面白みを知った(これらは絶版である)。

特に、ハイトラーの「物理学者の目から見た生物の捉え方」は、従来の生物学の方法論とは異なりヒトゲノムが解明された21世紀においても計算機を使って解析する生物学においては非常に示唆的なものであり、その後の私に影響を与えた。私の大学時代においても、理論生物学なるマイナーな世界に生き、計算機を使うがために、前の会社に身を置くことになった。

しかし、30年後の今、時代の要請で現在の私があるのは非常に幸運であり、高高時代の3年間とハイトラーの著書一冊が私を決めてしまったとも言える。高校生から20才前後にかけては柔軟で自由な発想や経験ができる。高高的3年間を今後、通過する人達もこの3年間を大事に過ごして欲しい。学力低下が言われている昨今であるが、ちょうど同級生が高高的教頭先生になられたことだし、good DNAが受け継がれて行くことを期待したい。



## 歌に始まり、歌に終わった！ ～高松高校音楽部TMCの思い出～

昭和56年卒

三好英彦

私の高校時代は、本当にほめられたものではありませんでした。勉強のべの字もやりませんでした。3年間は歌に始まり、歌に終わったといっても過言ではありません。中学のときにスポーツをやっている、声大きいからというだけで引っぱり込まれた合唱の世界にどっぷりと浸かったのがこの3年間でした。

高松高校音楽部 通称TMC（部員の間では、タムシ）は、傍から見ると地味な混声合唱団ではありましたが、皆和気藹々と日が暮れるまで、歌いまくり、しゃべりまくっておりました。旧校舎（今はありませんが…）の音楽室がその練習場所。プールの脇にあった夏暑い部室の前の建物の3階だったかな？（おぼえていらっしゃる方はいますか？）皆さんにとってはもしかしたら、退屈な音楽の授業の場所ではなかったかもしれませんね。（音楽の先生すいません！）

今流行りのゴスペラーズなんていうアカペラグループは皆さんご存知ですよね？ 携帯電話の着メロでも人気の彼ら、実は、元祖が私達なのです?! まあ、それは冗談としても、今でこそアカペラグループがTVでポピュラーになってきて、若い人たちがきゃーきゃーと騒ぐようになりましたが、私達のグループは、時代も時代ですから全く騒がれることはありませんでした。ダークダックスがまだ現役の時代ですからね。

でもですね、年に一度の秋の文化祭では、結構芸能人気取りで、ハモリまくっていました。かわいい女の子が観客でいたりすると男子は結構がんばっていたように思いますが、当時の仲間は、「おまえだけや！」と言って、責任回避をしております。まあ、目的はなんであれ、我を忘れて打ち込んだ歌の世界は、私の原点です。

まじめなこともちょっと書いておかないと先輩の方々から叱られそうですね。まじめな方の最大のイベントは夏のNHK合唱コンクールでした。このコンクールを目標にして、長い練習をこなしてきました。当時は、高松一高と坂高が常に県の代表を分け合っているような状態で、特に打倒高松一高が合言葉でした。

当時のクラブ活動は3年になるとどちらかというと、2年生にメイ

ンをわたしていました。

私達はその2年生のときに、何と坂高を破り、県2位、県代表になれたのです。このときは、本当に嬉しかったです。何たって本番で歌った人数が20人くらいの弱小合唱団でしたから、選ばれたことが奇跡のようでした。運もよかったのですが、あのときくらい、ひとつのことをやり遂げた喜びを味わったことはありません。今でも、あのときの歓声は耳にこびりついています。

(TMCの同窓会を開きたいなあ！ ご連絡先：090-8949-0901)

(ソニー生命保険株式会社 コンサルティングライフプランナー)



植田先生とTMC（高松高校音楽部）仲間たち  
左から3番目が植田先生、左から2番目が筆者



文化祭（音楽室にて）

## ふるさとの大地にねむる 宇宙のしらべ ～ サヌカイト

打てば美しく鳴る—そんな、およそ石らしからぬ性質で知る人ぞ知るサヌカイト。香川県を中心とする世界的にもごくかぎられたエリアにしかみられないその非顕晶質古銅輝石安山岩は、かつてこの地方におこった火山活動により生まれたというのが定説。けれども、地表からせいぜい数メートルの深さにしか存在せず、また周辺の他の石と大きく異なる成分をもつなど、どうしてもそれだけでは説明しきれない謎を残すといわれます。この石が誕生したとされるのは、およそ1,300万年前のこと。

ところで、近年にわかにはふるさとの巻を騒がせているロマンティックな話題といえば、高松クレーター。仏生山公園そばを中心とした、この直径約4km、深さ約2kmにおよぶ大きな半球のくぼみが、大昔に飛来した巨大隕石によるとする説も有力とか。その衝突があったのは、およそ1,500万年前と推定されています。

サヌカイトと隕石。このふたつを直接むすびつけるのは学術的にもやや無理があるようです。けれども、私たちのふるさとの大地に大小の「石」にまつわる神秘が存在することこそ不思議も不思議。人智のおよぶくもない大自然そのものの音であるはずなのに、どこか超然とした響きが胸を衝く—そんなサヌカイトに、ふと「宇宙からのメッセージ」などという言葉の思いうかべてしまうのは、いささか羽目を外しすぎというものでしょうか。

ともあれ、今宵の特別プログラムとして、サヌカイト石琴制作の第一人者・宮脇馨子さんのご協力を得て、この石の最高の音色をお楽しみいただくミニ演奏会を企画いたしました。

どうぞ耳を澄ませて、できれば目を閉じて、心ゆくまでご鑑賞ください。

### サヌカイト演奏 臼杵美智代（うすき みちよ）

1965年 香川県高瀬町生まれ  
1988年 宮脇馨子氏と出会いサヌカイトの演奏を始める。  
桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学研究科修了。NHK洋楽オーディション合格。平成10年度文化庁芸術インターンシップ研修員。マリimbaを安倍圭子、上田邦子の両氏に、打楽器を小林美隆氏に、邦楽囃子を藤倉華鳳氏にそれぞれ師事。  
現在、日本音楽集団団員、三木稔主宰オペラシアター「歌座」および「結アンサンブル」のメンバーのほか、環境音楽の長屋和哉氏とユニットを構成し、サヌカイトを中心としてコンサートという形式を超えた「音空間の創出」をテーマに活動するなど、洋楽、邦楽を問わず幅広い演奏活動を行っている。  
2000年よりくらしき作陽大学音楽学部非常勤講師。  
下野戸亜弓&臼杵美智代ジョイントリサイタル  
～邦楽器とサヌカイトの出会い～  
2001年10月26日（金）芝abcホール 7時開演  
11月8日（木）香川県県民ホール  
（アクトホール）7時開演



## 石によせて

### 宮脇馨子

「衣ずれ」という言葉がある。石に「石ずれ」というものを、人は知っているだろうか。石を担いで山を下りると立木にふれて、さやさやと音をたてる、山で石の層の上を歩くとかすかな音響を足の裏に感じる、父はこのようにし、鳴る石を知ったのであろうか、父・長尾猛が逝って七十年が近い。地元で「かんかん石」で知られる磬石(学名サヌカイト)はその長尾猛が明治末年、苦心して探層採掘を始めたものである。声明の権威だった父はこの石を和音の五音、佛教音楽の十二声に配して、おそらく世界でも初めての石の調律楽器「石琴」を創作した。この石琴は大正十一年御大典記念に、綾歌郡から大正天皇に献上され陸軍大演習が同年行われた際、摂政の宮、昭和天皇が「磬石についてたずねたい」「あの石は削ったものであるか」「如何なる種類の岩か」と御下問になられた。私は石に魅せられた父によって「馨子」と命名され、父亡きあとこの石を守ったが、石は長い間かえりみられることはなかった。戦後、東京オリンピックの際、音楽家と音響技術家の方が見え、サヌカイト数百個の単独音を持ち帰られ、余韻を束にして編集、三十分間の音楽ものとし、外国の選手村の食堂で、庵治石の巨大なスピーカーボックスからこれが流された。このふしぎな音は、人々の心をとらえ、何の音か分からないが、石の音でなくしてなんであろうと音楽誌に書かれた。NHK「私の秘密」にてだのもこの頃だ。昭和四十七年には当時の皇太子殿下、今の天皇陛下に二オクターブ半の石琴を県よりお贈りさせて頂いた。顧みれば「喜びも悲しみも幾歳月」の思いである。世界で唯一、棒状板状の天然石である磬石。「そのまま魚の形、鳥の形、雲の形にも見え、その音は知らず識らず人をして佳境のひとつとなす」とは父の書いていた言葉である。心を澄まし、そんな石の音を聴いてくだされば、と願ってやまない。

(CD「磬石 Sanukite Ringing Stone」より転載)



### サヌカイト制作 宮脇馨子（みやわき けいこ）

サヌカイト制作、演奏家  
1919年2月26日綾歌郡国分寺町生まれ。石琴100台所有。  
父、長尾猛の残した道で粉骨、石を守り石に尽くしている。  
明治末、仏教音楽から入ったカンカン石を西洋音楽演奏に用いる楽器とし、世界に通じるサヌカイトとして次の世紀に伝えたいと願いながら演奏活動を行っている。  
(信条)「死為石鬼」(死して石の鬼と為る)  
「死為磬屍」(死して屍を磬と為す)  
(趣味) サヌカイト制作

# 東京玉翠会ゴルフ同好会の活動報告

昭和19年卒（高中）  
打越 祐（幹事）

初夏の爽やかな季節に東京玉翠会も第19回総会を迎えてその集いもますます盛大な趣はご同慶の至りに存じます。

私どものゴルフ同好会も回を重ねるごとに続々と参加者が加わりまして、平成13年5月13日（日）の第14回コンペには、9組34人の同好者が千葉県大網白里町の「季美の森ゴルフ倶楽部」に参集致しました。

今回の幹事は昭和52年卒業の折目尚也、田中信重、神崎俊の諸君で、企画／連絡／設営などを分担して、手際よく運営され、その上五月晴れの好天にも恵まれて、お陰様で楽しいプレーを満喫することができました。

最長老は遂に大正15年生まれ、昭和19年卒業の小生にお鉢が回り、同窓の藤本弘君と二人で、息子や娘と同じ若い人達と楽しい一日を過ごさせて戴きました。そもそもこの会は親子ほどの老若、机を並べた男女が、時代を飛び越えて共に集うところに意義があるものと思えます。松本先輩、山田先輩、辻先輩、中村先輩の方々のお元気を再び拝見致したいものと祈っております。

今回も六名の女性の参加を得まして大会に華を添えて戴きました。男性顔負けの堂々たるスコアで、とくに常連の小島豊子さんは、男性と同じティーを使ってしばしばオーバードライブされ、特に17番ショートホールでは、あわやホールインワンかというスーパーショットで軽々とバーディをとられました。女性のベストグロスは高田トシ子さんで92で第5位に入られました。男性のベストグロスはシングルの名に恥じず折目尚也君が82で前回に続いて栄冠に輝きました。

以下ダブル・ベリアによる成績を組み合わせ順に発表させていただきます。



スタート前の記念撮影

平成13年5月13日（日）午前9時15分スタート（アウト／イン）  
季美の森ゴルフ倶楽部（千葉県山武郡大網白里町季美の森南2-49）

組合せ表

ダブルベリア

スタート	氏名	卒業年次	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット	ランク	
ア ウ ト	9:15	打越 祐	昭和19年	56	47	103	28.8	74.2	11位
		藤本 弘	19	53	45	98	19.2	78.8	29位
		小島 豊子	43	52	44	96	18.0	78.0	27位
		*神崎 俊	52	65	64	129	40.0	89.0	34位
	9:22	津森 喬	33	41	42	83	13.2	69.8	優勝
		柴野 孜	33	54	48	102	21.6	80.4	32位
		和田 邦子	50	56	47	103	27.6	75.4	14位
		*中山 易典	50	48	46	94	16.8	77.2	24位
	9:30	小国 昭	37	42	47	89	12.0	77.0	23位
		井上 米輝子	45	51	50	101	25.2	75.8	17位
		*岡崎 洋	37	49	44	93	19.2	73.8	8位
		9:37	三崎屋義正	34	49	47	96	25.2	70.8
玉木雄一郎	63		41	44	85	10.8	74.2	9位	
奥本 和幸	63		56	50	106	28.8	77.2	25位	
*小山 宏記	53		49	48	97	22.8	74.2	10位	
9:45	藤沢 恒代	23	45	46	91	10.8	80.2	31位	
	池上 晴英	45	43	42	85	12.0	73.0	6位	
	*梶野 茂	34	52	49	101	22.8	78.2	28位	
	イ ン	9:15	細溪 美古	昭和22年	52	53	105	27.6	77.4
小野 長城			25	50	47	97	20.4	76.6	20位
長尾みどり			53	53	50	103	26.4	76.6	22位
*折目 尚也			52	40	42	82	6.0	76.0	19位
9:22		丸吉 幸也	23	49	48	97	20.4	76.6	21位
		佐藤 正美	29	52	43	95	19.2	75.8	16位
		高田トシ子	38	46	46	92	19.2	72.8	5位
		*辻 敬三	51	51	43	94	20.4	73.6	7位
9:30		沼田 敬純	38	48	46	94	19.2	74.8	12位
		松島 孝信	43	43	45	88	16.8	71.2	3位
		乙川みち子	63	56	53	109	33.6	75.4	15位
		*大嶋 匡博	49	69	54	123	37.2	85.8	33位
9:37	沖野 勝	33	53	45	98	22.8	75.2	13位	
	岩崎 明宏	49	44	50	94	21.6	72.4	4位	
	南 寿秀	H7	51	56	107	31.2	75.8	18位	
	*田中 信重	52	61	48	109	30.0	79.0	30位	

\*印は各組のスコアラー

## 囲碁の思い出

昭和36年卒

岡本光平

私の囲碁歴は、入社もない頃会社の喫茶室の片隅で始まりまし  
た。その頃の私の囲碁の知識は「生」「死」が分かるくらいで、その  
他の知識はほとんどありませんでした。それでも同レベルの人達と  
打つ碁は大変楽しく、時間はあっというまに過ぎていました。相手  
の大石を殺してにんまりしたり、最後に逆転の一手で大負けしてく  
やしい思いをしたりしながら、色々な碁の手筋を覚えていきました。  
そして、この「打つ」事を通じてたくさんの人達と友達になること  
ができ、いつの間にか会社の囲碁部に席をおいていました。合宿で  
一晩中碁を打ったこと、業界の囲碁大会で準優勝（C級の部）した  
こと、チーム戦で自分が無惨に負けて皆に迷惑をかけてしまったこ  
と、プロの先生に打っていただき、日本棋院の免状をいただいたこ  
と等、たくさんの思い出ができました。今は定年退職し新会社に移  
ったため、碁を打つ機会がほとんどなくなってしまいました。だか  
ら年一回開催される囲碁同好会の大会に参加して、楽しいひととき  
が過ごせるのを心から待ち望んでいます。

今年も大会が開催されます。一度でも「碁」を打った経験のある  
方はぜひ参加してください。打った後の快い疲労感とその後の懇親  
会は大変楽しいものです。今年も新しい方々が、よりたくさん参加  
してくれることを心から願っております。

### 第9回大会のご案内

日時／平成13年9月8日（土）

[集合] 12:00 [対局] 12:30~18:00 [懇親会] 18:00~20:00

場所／「安具楽・五合庵（お座敷）」

中央区銀座7丁目9-20（ライオン銀座7丁目店4階）

TEL 03-3571-5570

参加費／6,500円（ミニ懐石料理共）

皆様お誘い合わせの上、幹事までお申し込みください。お忘れな  
きよう手帳にご記入の上ご連絡ください。お待ちしております。

### 連絡先

丸田 晃（昭和25年卒）

井上 榮（昭和33年卒）

植田 義直（昭和35年卒）



対局および懇親会風景（第8回大会 平成12年9月9日）

## ベルギービール・三姉妹・そして味の探求

—まだまだ続く賑やかな高高神田会(平成13年度宴会報告)—

昭和37年卒

岡崎 洋

神田界隈に出没する高高卒業生を中心に、毎回異なるテーマのもとに讃岐弁で大いに楽しもうということで始まった「高高神田会」。今や神田の枠を超えて、高中卒業から平成卒業までの広い層の、ともかく好奇心溢れる者が集まり、昨年から今年にかけても三度の賑やかな会合を開催した。

第11回「ベルギービールを楽しむ会」は昨年9月、ベルギービール広報センターの佐藤ひとみさん(S51年卒)を講師にして行なわれた。定刻前から、参加者はベルギービールを早くも試飲。まず若い早川君(H6年卒)の音頭で乾杯の稽古。続いて入江君(S42年卒)。そして正式乾杯は中村先輩(高中50回卒)の音頭でと、恒例の神田会方式、稽古つき乾杯で会は始まった。

新しいビールが注がれるたびに佐藤さんから説明が(それに合わせた料理の説明も)ある。ベルギービールに関して日本一の造詣を誇る一流専門家である佐藤さんからタダで話が聞けて、いつでも質問はできるし雑談はできる。それも実際にベルギービールを飲みながら。

こんな贅沢なことをして“えーんやろか?”と思うほど優雅な会である。

「ベルギービールの歴史は1000年。トラピスト修道院を始めとする100の醸造所があり、銘柄も実に800種類。大きな瓶から缶ビールまであり、飲むグラスもワイングラスのようなものから実に様々な形態のものがあります。焼酎よりもアルコール度数が高いビール、果実入り、ハーブ入り、さらにスパイス入りビールすらあり、このような多彩さを誇るのは、ベルギーという国が他国の支配という歴史の中で自らの文化を守り、地ビールを育てたからです……」

こんな興味深い話が、ベルギービールを呑みながら聞ける。「禁断の果実」というビールを飲んだ時には、全員が感心し「禁断の果実」論で盛り上がる。

会場は佐藤講師の話に、それを聞いたり聞かなかったりするテーブルごとの雑談、大声、大笑い。次から次へと出てくるビール。だんだん酔いが回り、さらにビールがすすむとなると、久保先輩(S27年卒)恒例のビールショーも出る。

会場が、ベルギー文化やトラピスト修道院などの高尚な話を聞く立派な会合から、いつものような賑やかな讃岐弁の会合になり、さらに大笑いの充満する空間となる。最後には、佐藤講師が念のために用意したが、多分ここまでは飲まないだろうと予想していたどデ

かいビール瓶も、結局は抜いてしまう。

しかも、このビールすら、あっという間に参加者のノドに消えてしまった。

佐藤講師の立派な内容の話も、参加者は本当に理解したのか、この酔っぱらって大笑いしているばかりの仲間をみていると疑問に感じざるを得ないが、まあ一緒に大笑いするしかない、大賑わいの会でありました。

ミレニアム大忘年会と称する12回高高神田会は、昨年11月に太田三姉妹を迎えて開催された。長女・暁子さんは(S63年卒)暁玲華という名前で占いをやっており、次女は女優の陽子さん(H元年卒)、三女が神田会の当初からのメンバーである音楽家の馨子さん(H7年卒)という、いずれも高高卒業の才色兼備の姉妹である。

このようにそろって高高を卒業し、それぞれ独自の道を歩んでいる立派な姉妹がいるのだから、いつも酔っぱらっているばかりの神田会メンバーも新しい世紀を迎えるにあたり、見習うべしとの気持ち込み込められた忘年会であった。

いつものように乾杯の稽古、稽古の後の本乾杯で開始。三姉妹が経歴や職業についての経験談などを披露。長女の暁子さんは建築を学び、一流企業に就職した後、自らの道を模索する中で占い師として独立した経歴や、占いについての考え方を話す。次女・陽子さんは舞台の話や出演しているテレビCMの話。三女・馨子さんはフィアンセの橋本君同伴だったので、もっぱら二人のなれそめなどに質問が集中(なお今年3月、お二人は素晴らしい挙式をあげ、神田会の有志もお祝いにはせ参じた)。

三姉妹の貴重な話が続き質問も続いたが、せつかくの年の終わりの反省会が、いつもの神田会になるには時間を要しなかった。賑やかな讃岐弁が飛び交い、テーブルごとの会話も大賑わい。新しいカップルはテーブルごとに激励を受ける。何が楽しいのかバカ笑いが続く、そんないつもの雰囲気、参加者全員が忘年ならぬ、自分の歳を忘れるほど大笑いする賑やかな忘歳会になった。

今年5月には第13回神田会が、世界初の味センサーを開発・製造した世界でも珍しい味博士、アンリツの池崎秀和博士(S52年卒)を講師に迎えて行なわれた。小山君(S53年卒)の司会で、池崎博士の味についての講義。ビールの味覚テスト、醤油をかけたプリンとウニの味比べ、蜂蜜をかけた胡瓜とメロンの味比べなども行われ、途中質問、大笑い、大騒ぎありのいつもの会合になる。

講義そっちのけで酒の味を研究する者も現われ、伊達さん(S43年卒)差入れのワインで、さらに盛り上がる。会の後も参加者の半数が隣のうどん屋で、またも大賑わいなのだが、誌面も尽きてきたので詳細は割愛せざるを得ない。

このようにして高尚で賑やかな神田会、今後も続く予定である。

## 東京玉翠会ホームページの現状と今後の抱負

昭和47年卒

土居範行

私が幹事を担当したのは5年前ですが、そのころは、ほとんどの学生は東京玉翠会の存在を知らず、学生の総会出席者は数える程度しかいませんでした。

ところが現在では、たいていの学生が東京玉翠会を知っており、総会の出席者も、若い年代を中心に増加の一途です。

その大きな理由に、東京玉翠会ホームページの存在があると自負しています（ホームページの維持管理は手弁当で行なっていますので、この程度の自己満足はご容赦ください。）。

以下、その東京玉翠会ホームページの現状を簡単に紹介したいと思います。

現在、各学年では、それぞれ独自にホームページを作っており、東京玉翠会ホームページは、それらとリンクしています。

平成元年以降でホームページがあるのは、H元年卒、H4年卒、H5年卒、H7年卒、H9年卒、H10年卒、H11年卒、H12年卒です。

H2年卒、H3年卒のページもかつてはあったのですが、残念ながら今はなくなってしまいました。

インターネット研究会の当面の目標は、すべての学年にホームページを作ってもらうことですので、まだ作っていない学年は、ぜひともチャレンジしてください。

ホームページは更新が大変なので、とりあえず掲示板だけつくってしまうというの、ひとつの方法です。

H7年卒やH11年卒のページは、今のところ掲示板だけですが、けっこう書き込みがあるようです。

また、すでにホームページがある学年でも、ひとつに限る必要はありません。S43年卒は、高松と関西にそれぞれホームページがあります。

ところで、インターネット研究会は、東京玉翠会のバナーを募集

しています。

これは、S27年卒の先輩から、インターネット研究会に多額の寄付をいただきましたので、その寄付金を有効に使わせていただくため、東京玉翠会ホームページの新しいバナーを募集し、優秀な作品をお寄せいただいた方には賞金を進呈することにしたものです。

詳細については、東京玉翠会ホームページをご覧ください。

また、インターネット研究会では、昭和20年代、30年代の卒業生の方を対象に、パソコン講習を行なう構想を持っています。

すでに講習場所は、先輩の協力により確保できています。ただ、パソコンと講師の方が確保できていませんが、体制が整い次第、案内できると思いますので、ご期待ください。

インターネットは、単なる情報伝達のための道具ですが、使い次第でさまざまな可能性を秘めています。

東京玉翠会ホームページも、高高卒業生の交流の場を提供するだけでなく、各地の玉翠会との交流や、あるいは高高だけでなく、他の高校OBとの交流のきっかけになればと思っています。

今後とも、よろしくお祈いします。

**東京玉翠会**

お知らせ

【お知らせ】「H14年卒」東京プリンスホテルで行われます。  
「S11年卒」の卒業式です。  
担任などで案内がつかない方は、こちらで申し込み。  
東京玉翠会のバナーを募集します。最優秀賞には3万円の賞金。  
H17年卒のバナーが5月9日に開かれました。  
高松・木村宗雄さん(S4年)のファンサ原が、6月1日(土)から2日(日)文芸春秋運動場が開かれます。  
【お知らせ】「H15年卒」の卒業式は、H15年卒のバナーが5月9日に開かれました。  
とよみで卒業式が行われます。H11年のバナーが開かれました。(H15年)  
卒業生で活躍中の人に、映画「キャスト」-橋本雄策さん(46年)を追悼。(H13年)  
映画「キャスト」-高松(高松)を追悼。ラジオ 高松でも放送中。  
S4年卒の友人(行方、20年、20年)のバナーを募集。  
後援三社の表彰状を贈りました。(H13年)  
卒業生で活躍中の人に、映画「戦士」-内藤正樹さん(49年)を追悼。(H15年)  
後援「B2」で放送中の「NIPPON」で、ウェザーキャストとして活躍中。

### 学年別・部活動OBのページ

学年別のページ  
S41年というは昭和41年3月に卒業した人のことです。

学年	人数	人数	人数	人数	人数
S27年	S28年	S34年	S35年	S36年	S37年
S37年	S38年	S39年	S40年	S41年	S42年
S42年	S43年(高松)	S44年	S45年	S46年	S47年
S47年	S48年	S49年	S50年	S51年	S52年
S52年	S53年	S54年	S55年	S56年	S57年
S57年	S58年	S59年	S60年	S61年	S62年
S62年	S63年	H64年	H65年	H66年	H67年
H67年	H68年	H69年	H70年	H71年	H72年

クラブ別のページ

バスケット部	吹奏部	音楽部	美術部	陸上部
--------	-----	-----	-----	-----

東京玉翠会のホームページ <http://www.sanukaiito.gr.jp/gyokusui/>

## 東京玉翠会会員の集いの場 「玉翠倶楽部」をご存知ですか？

昭和56年卒

三好英彦

日頃玉翠会の方々が気軽に集える場所として「玉翠倶楽部」が誕生しました。

東京玉翠会総会も皆様方の母校愛の賜物から今年で19回目を迎え、国内においても類を見ない規模の同窓会へと発展してまいりました。しかし、時代は流れ、規模も大きくなるにつれて、学年を越えた先輩と後輩の交流といったようなものが、ややもすると薄れがちであることも現実です。

\*

東京玉翠会が益々強い絆をもって発展していくことを願い、「先輩も後輩も一緒に」「和気あいあいと」「そこに行けば玉翠に」という3つのコンセプトのもと、「皆が気軽に仕事の帰りに集える店」をご紹介させていただきます。理想は、銀座界隈で十人程がカウンターに座ればいっぱい、こじんまりとした店、うまいおでんをつつきながら一杯呑めて、先輩も後輩も一緒に話に花を咲かせることのできる店、ビールが足りなくなったら自分で冷蔵庫から取り出すような気を使わない店、こんな条件をすべて満たすことのできる店でした。ある意味では一番贅沢なことかもしれません。

今回の「玉翠倶楽部」には都内で玉翠会に縁のある5店舗にご賛同いただきました。焼き鳥の店であったり、カラオケの店であったり、ショットバーであったりと、バラエティに富んだ構成になっております。会員証を提示すれば、なんと飲食代が10% Off!! その上、讃岐弁がバリバリ話せて、バリバリ聞ける!!先輩と後輩の絆も深まる!!是非、「玉翠倶楽部」会員(もちろん会費無料)になりませんか?

\*

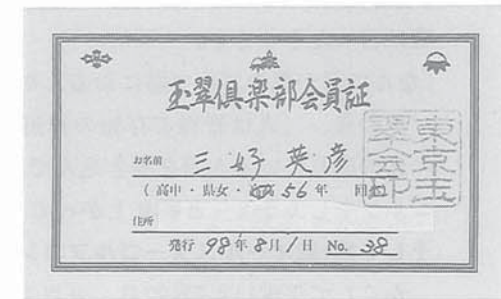
現在の加盟ご協力店5店舗をご紹介します。(順不同)

- ① 焼き鳥 鳥仲 (中野京子 38年卒) TEL 03-3661-8748  
中央区日本橋茅場町 3-2-3 (地下鉄茅場町駅から徒歩5分)
- ② スナック アイビー (渡辺浩 31年卒) TEL 03-3983-2720  
豊島区池袋 1-22-5 サンケエビルB1 (JR池袋駅東口・徒歩5分)
- ③ BAR DUO (小川榮治 48年卒) TEL 03-3367-4352  
新宿区高田馬場 (JR高田馬場駅・さかえ通り一番奥左側)
- ④ ショットバー ステラ TEL 03-3572-2058  
中央区銀座 8-8-17 伊勢萬ビル 1F・2F (博品館うら・金春通り)

- ⑤ スナック チロ TEL 03-3353-9847

新宿区(四谷)三栄町16番地 (JR四谷駅から徒歩5分)

\*お店に行ったら、必ず会員証を先にお見せ下さい。



\*

現在の会員数は65名。こちらにご紹介します。(順不同)

若松昭二(高中19) 丸吉幸也(高中23) 永野精子(高高27) 白井勝子(高高30) 渡辺浩(高高31) 綾野仁嗣・宮井雄二・武藤満雄・前川勲・浅田裕・大西昭一郎(高高33) 鴨田昭代(高高34) 山本晴男・本田道明・藤原典雄・斉藤寿良(高高35) 岡崎洋・喜岡俊英(高高37) 打越暉芳(高高38) 末包昭彦(高高40) 林小夜子(高高42) 鏡原満・北山恭尚(高高43) 池上晴英(高高45) 田中康博(高高46) 土居範行・二川和之・堀本国男(高高47) 原貴美子・久本吉亮・川原一芳・大川哲生・多田泰三(高高48) 北村篤孝・香西靖仁・武田恭明・柳谷護・岩崎昭宏(高高49) 中山易典・池田達彦・三谷勝明・池上みどり(高高50) 大喜多俊彦(高高51) 長尾みどり・松元文一・松野和彦(高高53) 太田理・藤沢昌弘・池内久徳・三好英彦(高高56) 佐々木英夫・鞠恭彦・藤井工・町田聡(高高58) 原木俊哉(高高60) 東幸弥・岡本吉剛・奥本和幸・玉木雄一郎・湯浅康司・池田康之・田川司・西村公佑・杉内信夫・西岡幸治(高高63)

\*手違いにて掲載されていない方はお知らせください。\*

提案人: 大西昭一郎(高高33年卒)

協賛人: 岩崎昭宏(高高49年卒)

三好英彦(高高56年卒)

E-mail: hidehiko.miyoshi@dream.com)

\*この件に関する問い合わせは、岩崎・三好までお願い致します。

## 東京玉翠会 オールスターゴルフコンペ

昭和53年卒

小山宏記

それは偶然の出会いから始まった。

2年前の5月、33年卒大西昭一郎先輩と筆者と同期の53年卒長尾みどりは偶然にも東京よみうりCCで出会いました。そのとき大西先輩は言ったそうです。

「なんで君が僕のゴルフ場におるんや？」

その後、二人は皆様ご存知の神田会にて偶然の出会いを語り、その席の周りにいる人間を巻き込んで、「平日に名門ゴルフ場で優雅にゴルフをしよう！」と盛り上がってしまったのです。

そして第1回オールスターゴルフコンペ

かくして平成11年7月27日、東京よみうりCCにて3組12名の参加で第1回オールスターゴルフコンペが開催されました。競技は新ベリア方式ですが、男/女、熟年/若輩などのチーム分けをしたり、闇討ちといって自分の競争相手を決めて競い合ったりとゲーム内容も工夫されオールスターの名にふさわしい楽しくにぎやかなコンペとなりました。

優勝杯賜る

第3回からは33年卒の井上榮先輩が43年卒の小島豊子先輩の申し出を受けて優勝杯を寄贈され、優勝者はその優勝杯でビールを飲み干すという儀式まで毎回行われるようになりました。この優勝杯寄贈を受け、コンペの名称も井上盃争奪オールスターゴルフと改称しようとしたのですが、井上先輩が「その名前をつけられたら、何があっても参加せないかんようになるけん、こらえてくれ。」とおっしゃったので改称は断念いたしました。

反省会と称して天竹へGo!

回を重ねて第5回、プロゴルフツアーの日本シリーズが行われた直後の東京よみうりCCにて4組14名の参加にて平成12年12月5日に行われましたが、その日はコンペパーティはゴルフ場では行わず、ラウンド後のお風呂も早々にすまして、参加者一同東京都心をまたいで中央区勝どきに向かいました。目的地はフグ料理で有名な「天竹」。そこで反省会と称してプレー後の美酒と美味しいフグを堪能し、

ゴルフには参加していない方も数名参加されまして、玉翠会の宴会らしくにぎやかに楽しく盛り上がった次第であります。

このように「平日に名門ゴルフ場で優雅にゴルフをしよう！」という趣旨で始められたオールスターゴルフコンペ、先日平成13年4月12日に参加者16名にて第6回が行われましたが、ゴルフだけに留まらず、楽しく酒を飲み、語り、先輩後輩が一緒になって、もちろん讃岐弁まるだしで、という神田会をはじめとするその他の同好会と同様に玉翠会の会員の親睦を深めるに一役買っているものと思ひまして、ここに紹介させていただきました。

最後に、東京玉翠会ゴルフ同好会コンペも毎年行われ、14回を迎えるにいたりました。オールスターゴルフコンペは東京玉翠会ゴルフ同好会とは正式には関連無く開催されておりますが、ゴルフを通じて親睦を深めるといふ趣旨は同じとし、共に盛り上がっていくことを願って開催されていることを付け加えさせていただきます。

東京玉翠会オールスターゴルフコンペ連絡幹事

小山宏記 (53年卒)

e-mail: koya@hyrock.co.jp



2000/12/5  
東京よみうりCC 18番ホールにて



2000/12/5 東京よみうりCC マスター室前にて



## 美術愛好会だより

昭和34年卒  
鴨田昭代

美術愛好会もこの紹介ページに出ること早5回目となりました。今年度は、会員全体で取り組む行事は何も出来ないままに終わってしまいました。しかし、有名な絵画コレクターの中村文俊さん(高中50回卒)から学んだ現代アートの数々は、未知の世界への扉を開いてくれました。また、ファインアートというコンピューターを使った作品を教えてくれたのは、ファインアート作家の多田満さん(53年卒)。こんな芸術もあるのかと、驚きでした。

美術愛好会は、美しいものの好きな人達の集まりです。その中に、いろいろなプロの方達も加わって、そして、見知らぬ世界が少しずつ開けていきます。出会いがあります。

美術愛好会の中の小さなグループによる活動は沢山ありました。永野精子さん(27年卒)のご紹介で、三木武夫記念館での催し(三木元総理夫人陸子さんの豪華な着物、日本の染めと朝鮮の刺繍の技術を合体させた現代最高の着物、また親子孫三代にわたるお雛さまなど)を拝見する機会に恵まれました。

また、藍を育て、その藍でシルクを染める会(27年卒の方々)にも参加させていただきました。版画家の長馬恭子さん(29年卒)、地元香川大学美術科教授・木村美鈴さん(34年卒)の個展等もありました。いろいろ情報をいただき、楽しむことが出来ました。

今後、第15回総会の表紙を描いて下さった芸大教授・鈴木八朗さん(30年卒)や以前にも参加下さった日本画家・二川和之さん(47年卒)など、ご活躍されている方達のお話を伺う機会がもてればと願っています。

この会の趣旨は、"美しいものは美しい"-中村文俊さんが言われた言葉に尽きます。今年一年停滞の中での小さな活動が結集し、また来年は何かより良い活動が出来ればと思っています。地道ですが、美術愛好会はがんばっていますので、よろしく願いいたします。

皆様のご参加もぜひお待ちしております。

連絡先 久保醇治(高高27年卒)

## 虚しくも一度やりたやプロジェクト

昭和27年卒  
西村武史

私達応援部OBが年一回の総会で、必ず話題になる「見果てぬ夢」がある。戦後、高松高校校歌は甲子園でその一片すら唄われていない。海鳴りの沖から押し寄せる潮のような感動を知らないのである。全国名門校で稀有な存在であろう。あと一歩で球神の「イタズラ」に泣いて来た。

しかし現実には厳しい。甲子園出場今しばしの時間の前に応援部の呼びかけで全国有志による甲子園で校歌を唄う「プロジェクト」を考えて見た。「おかしくて、やがて虚しい」かも知れない。オフシーズンでもよい。無人のスタンドに向って校歌を響かせようではないか。このIT時代に生産性の全くない時代錯誤、感傷、童子帰りもよいではないか。母校愛等の大げさなものでない。純に、時には無意味でもいいではないか。少年の日に帰ろうではないか。

電車の中でふと思いついたような考え、それは一つの形になるにはロマンチックなものだけでは進まないものである。ものすごいエネルギー(人的にも経済的にも)を必要とするに違いない。大き過ぎる宿題かも知れない。何から手をつけるのだ。思考が交錯する。応援部OBも年々歳を重ねてきた。このプロジェクトの見果てぬ夢、夢で終わらせたくないが夢のままでもいいのかも知れない。

夏近く今年も雲の峰を見ながら、又、同じ想いがめぐる。



応援風景(第14回総会)

## ブラバンOB会の紹介

昭和34年卒

頼則絢太

練習は連日暑い日々だった。屋上で応援部の太鼓と掛け声に合わせてドンドーン、ブカブカ〜唇は一度裂けて、また裂けて、すっかり硬くなったようだ。

「なんでこんな目に会わねばならんや…」ことの始まりは気まぐれからだった。

ブラバン設立当初の話で恐縮だが、放送部の何人かと「階段の下…」(H8年会誌拙稿参照)から這い出して放課後の教室の隅で、ギターとハモニカのちんけな楽団?をつくって遊んでいたら、ある時自治会の細川君から「君らそんなに楽団やりたいんやったら、楽器も買ってやるからブラバンやってみんか?」と声を掛けられたのが始まりだった。

この間の話は応援部の方からきた小松重貴君が後輩に「耳蛸」に聞かせているらしいので…以下省略。

それからが大変だった。顧問の牧野先生のやさしい指導で楽しく(タラタラ)やっていたら、もっと気合をいれろと明大応援部の織田昭先輩が乗り込んで来られて…「地獄の特訓」が始まった。校歌・応援歌数曲、士官候補生、ラデッキー行進曲それに軍艦マーチ、最低これ位はやれと言われてモタモタやっていたら高校野球の地方予選が始まってしまい、うる覚えのまま中央球場に行ったのだが、織田先輩のトランペットだけが淀みなく球場に鳴り響いたのは言うまでもない。その後結成を祝して全校生徒の前で演奏したり、何度も…予算分だけしっかり引き回されたのだった。残念ながら(幸か不幸か?)野球部は甲子園に行かなかった。そして我が青春のブカドンは手許に残ったマウスピース(トランペットの口の部分)のみとなった。

しかし、このとき結成されたブラバンはその後も隆盛の一途を辿り吹奏楽部の四国大会や全国大会にも好成績を残すまでに旨くなったし、何よりも毎年輩出する部員は数知れずプロになった人(昨年のジャズ演奏多田誠司君等)やOBの演奏活動も多く、名実共に大高吹奏楽団に発展したのだ!(今年の卒業生で第42代)その間、高松では小松君(歯医者)が、OB会を維持してくれたのだ(感謝)。しかし彼の願望である甲子園出場は未だ果たされていない…がこれはブラバンの責任ではない。もちろん出て欲しいことには変わりはないが、ブラバンの演奏が旨いだけではダメなんだろう。(ト)

ここに来て一昨年末頃から34代の藤田晋君達の熱心な方達が関東近辺のOB部員の名簿を作り始めた。なんとその数150名近くになっていた。毎年数名でも40数年立てば…わが身の年を数えるまでもない。

で、昨年第一回のOB総会を30名近くを集めて開催する運びとなった。懐かしくもあり面映くもある集まりであったが、楽しい会合となった。

以上のような経過で発足した、ブラバンOB会(関東支部)であるが、年1回の総会を開き有志による小会(=飲み会?)を数カ月おきに開いてお互いのネットワークを整備しているところであるが、東京玉翠会には要請次第?演奏するのが唯一の活動状況である。まずはネットワークづくりと親睦に傾注しているが、だんだんに確かなものとなっている。

さて今年の幹事連の中にブラバン出身の方が数名居られたせいもあり我々も妙に張り切っている。どだいこのような動きは私の見る限り数年おきに名簿などが作られて…またしばむの繰り返しだったような気がする(失礼)。

しかし今度はちょっと違う!インターネットを使ったメール連絡網やホームページもあり(<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife/4562/>)、名簿管理等のデータベース(?)も整備しており、何しろ時代に即した「IT化」と言う強力な武器があるからだ。きっと21世紀もますますこの会は繁栄するだろう。

毎年好きな楽器を担いできて酒も飲まずに(?)舞台の片隅で演奏している面々に、皆さんのご関心を乞う次第。

高高吹奏楽部OB会関東支部会々長  
頼則絢太(高高34年卒)  
call001@blue.ocn.ne.jp



OB総会(H13.5)の面々!(元赤坂Cafeゲトライデにて)

# タイムカプセル開封式典報告

平成4年卒

兼近 由賀里

2001年1月2日。新たな世紀を迎えた慶びを顕すかの如くすばらしい晴天に恵まれたこの日、高松高校体育館にてタイムカプセル開封記念式典を開催いたしました。

1991年（平成3年）2月、長い現役生活に終止符を打とうとする旧校舎への労いの念と感謝の意をこめて、生徒会を中心に旧校舎記念行事が行われました。その一環として校庭のメモリアルゾーンに埋設されたタイムカプセルには、未来の自分に宛てたメッセージカードやクラスの皆で寄せ書きをした色紙などが託されていました。

そして10年の時を経て、あの頃の思いを解き放つ時がやってきたのです。

当初私達は、タイムカプセルを式典当日に掘り出そうと考えていました。しかし、掘り出すには相当の時間がかかること、そして、今回式典を企画するにあたりタイムカプセルの存在とその状態をはっきりと確かめておきたかったため、活動を始めまだ間もない2000年7月、事前に掘り出すことになりました。

埋設時にお世話になった職員の田川さんには、今回の掘り出し作業でも中心となってご尽力いただきました。タイムカプセルが埋められていた穴は分厚い防水層と石版でしっかりと塞がれ、取り除くのも一苦勞でした。穴の中から取り出された2つの青いポリバケツには、さらに常滑焼の瓶が収められていました。これがタイムカプセルです。中にはメッセージカードなどがまるで昨日埋めたかのように大変よい状態で保存されていました。

式典では、その時の模様を映像にまとめて上映しました。上映後、ステージ上に登場したタイムカプセルの中から、代表者の方にメッセージカードが手渡されました。色紙などその他のものはあらかじめ会場に展示し、訪れた方々に自由に閲覧していただきました。

この他、OB・OGと現役生を交えての平成4年卒業生樽谷学氏による楽曲の演奏、高高の歴史にちなんだ高高クイズ、高校時代流行っていた曲のバンド演奏と、様々な催し物を楽しんでいただき、式典は大盛況のうちに幕を下ろしました。その後は学年ごと別々に会場

を移して学年別同窓会を開催、久しぶりに集まった同級生や先生方とお互いの近況を報告しあうなど、楽しい一時を過ごしました。

今回はタイムカプセルをきっかけに思いのほか多くの方々に集まっていただきました。高校卒業後それぞれの道を歩み、今では仕事も住所もまったく違う私達ですが、ここに集まり、そして10年前の自分にふと出会ったとき、忘れかけていた何かを取り戻したような気がしました。この感激を胸に、今後もこのように純粋な自分に立ち返ることができる機会が持てれば、と考えております。

この式典に際し、埋設当時の塩井元校長先生、秋山校長先生をはじめ、高松高校の先生方におかれましては、私達の活動に多大なるご理解と適確なアドバイスをいただきました。また、若さだけがとりえ故、特に経済面で苦境に立たされておりました私達の活動にご賛同いただき、惜しみないご支援をいただきました先輩方におかれましては、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



式典で挨拶する秋山校長



タイムカプセルより取り出した文章の掲示風景



式典当日のプラスバンド演奏

## 関西玉翠会第7回総会 「輝ける21世紀に思いを馳せて」

2001年度関西玉翠会代表幹事 (昭和45年卒)  
**修理 英幸**

東京玉翠会の第19回総会が盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

関西玉翠会の活動状況について紹介させていただきます。関西玉翠会の第7回総会は、2000年8月26日(土)にホテルニューオータニ大阪(鳳凰の間)において、会員317名の出席のもとに開催されました。昨年は、9月～11月の時期に仏滅の土日が無いために会場の確保が難しく、残暑の厳しい8月末の開催となりました。21世紀を向えた昨今においても、総会の開催が暦に左右される状況となりました。

関西玉翠会では、1994年に「関西玉翠会」と名称を改めて、「年次幹事会」を中心とした組織的な運営を行うと共に、卒業後32年目の年次幹事が各年度の総会の企画・運営を行うようになりました。そして、昨年の総会は、高松高校を1969年(昭和44年)に卒業された先輩が担当されました。1969年は、学園紛争が頂点に達した年であり、東京大学安田講堂での抗争により「東京大学の入試が中止となった年」として私達同年代の卒業生の記憶に残る年でした。それぞれの卒業年度には、それぞれの思い出、世の中の変化、歴史の流れがあります。総会テーマ「輝ける21世紀に思いを馳せて」のもとに、同じ時代と同じ場所で学生時代を過ごした仲間が集まり、さらに、世代を越えた仲間が集まり、懐かしいあの頃の思い出と21世紀への期待を語り合う総会となりました。

総会では、秋山忠校長先生から高松高校の近況を報告して頂き、「文武両道」の精神が先輩・後輩を通じて受け継がれていることに胸を熱くしました。また、懇親会では、清水道代さんのピアノ演奏を楽しんだ後、恒例の応援団エールと校歌斉唱により県女、高中、高高的卒業生が時を越えて一体となり、楽しい時間を過ごすことができました。

会員数約3,600名の関西玉翠会は、総会開催と名簿付会報の発行を中心に活動を続けており、総会参加者は約350名、会報発行部数は約700部に至っています。このような関西玉翠会の活動についても、他の支部と同様に「総会のあり方」や「会報の内容」についての議論が始まっています。同窓会活動を原点にして、

新しい活動を模索することは、貴会テーマ「温故知新～世紀新たな陽に映えて」との共通の思いがあり、新しいものへの挑戦は私達同窓生の共通の精神であると思います。

最後になりましたが、東京玉翠会の第19回総会の成功と貴会のますますのご発展、並びに会員各位のご健勝をお祈り申し上げます。



関西玉翠会第7回総会 2000年8月26日(土)ホテルニューオータニ大阪(鳳凰の間)にて

## 近況報告

岡山玉翠会事務局長（昭和28年卒）  
入船 健一

第19回東京玉翠会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

岡山玉翠会第22回総会は、平成12年11月19日にアークホテル岡山に於いて盛大に開催されました。今年も来賓として真鍋武紀香川県知事、塚本修県議会議員にご出席いただき総会、懇親会ともに盛会を究めました。

辻孝夫会長は開会挨拶で、来賓並びに県外からわざわざ参加くださった方々に対して御礼と、このところ年々参加者が増加して内容が充実した総会になっていることに満足と謝意が述べられました。

真鍋県知事からは、サンポート高松では21世紀を展望した都市機能と港湾機能の調和のとれた全く新しい街づくりに高松市と一体になって推進していること、また香川大学工学部のキャンパスの整備とともに民間研究施設の開設により技術、情報並びに文化の複合拠点として、その機能を活用するなど活力ある香川県をめざした県政についてお話いただきました。

母校より澤井静芳教頭先生、体育の寺師明美先生、数学の中井功先生に出席していただき、澤井教頭先生から、文武両面で多大の成果を上げている生徒の活動状況報告がありました。玉翠会本部から、すっかり元気になられた多田野久会長、脇和子副会長が同窓生の激励に駆けつけてくださり、多田野会長より、母校及び玉翠会発展のために会員に対して協力の要請がありました。

開会行事に続いて行われた総会では、平成11年度会計報告、山下孝代さんを新副会長、篠原たえこさんを相談役に推戴した新役員案は、いずれも原案通り満場一致で承認されました。懇親パーティは役員が持ち寄った賞品でのビンゴゲームで盛り上がり、料理がとても美味しいと大好評をいただきました。

正月には会員有志による新年会が開催され、会員相互の理解と協力の必要性を確認して21世紀に相応しい支部活動に邁進するように誓いあいました。

機関紙「岡山玉翠会だより」は年2回発行し、できるだけ会員の移動と近況を中心に編集しております。最後になりましたが、本会顧問の榛原清彦初代会長と今年度副会長に就任したばかりの山下孝代さんが逝去され、誠に残念でなりません。皆様にお知らせするとともに心からご冥福をお祈り致します。



岡山玉翠会 第22回総会 平成12年11月19日 於 アークホテル岡山

## 徳島玉翠会の近況について

徳島玉翠会会長（昭和29年卒）  
**磯部 淳一**

東京玉翠会の会員の皆様におかれましては、21世紀はじめの記念すべき第19回総会が7月14日に開かれますことを、心からお祝い申し上げます。今春、高松・徳島間の高速道路が全開通し、所要時間も1時間と随分短縮されました。高松から京阪方面への高速バスも盛況のようです。

さて第8回徳島玉翠会総会は平成12年11月19日、ホテルクレメント徳島で玉翠会本部から副会長の岩部、南両氏、母校からは秋山校長先生、石田、浜野両先生のご来徳を得て開かれました。

席上、松浦健司初代会長の後任として、私が次期会長に就任いたしました。例年、総会参加者は40名前後で、こじんまりと纏まっており、会食しながらの談笑も時間はあっという間に過ぎてゆきます。これからの運営方針としては総会、会誌発行等において若い方々のさらなる参加を呼びかけるつもりです。

なお、去る2月17日、母校を訪ねた折、秋山校長先生、寺師先生のご案内を頂きましたが、高々生の文武両道の活躍ぶりを伺ったり、玉翠会館で偶々、年1回の茶会が開かれていて、生徒諸君のサービスを受けたり、また、モダンな校舎の前庭のベンチに旧校舎階段の木製手摺が利用されていたりと、懐かしいひと時を過ごしました。

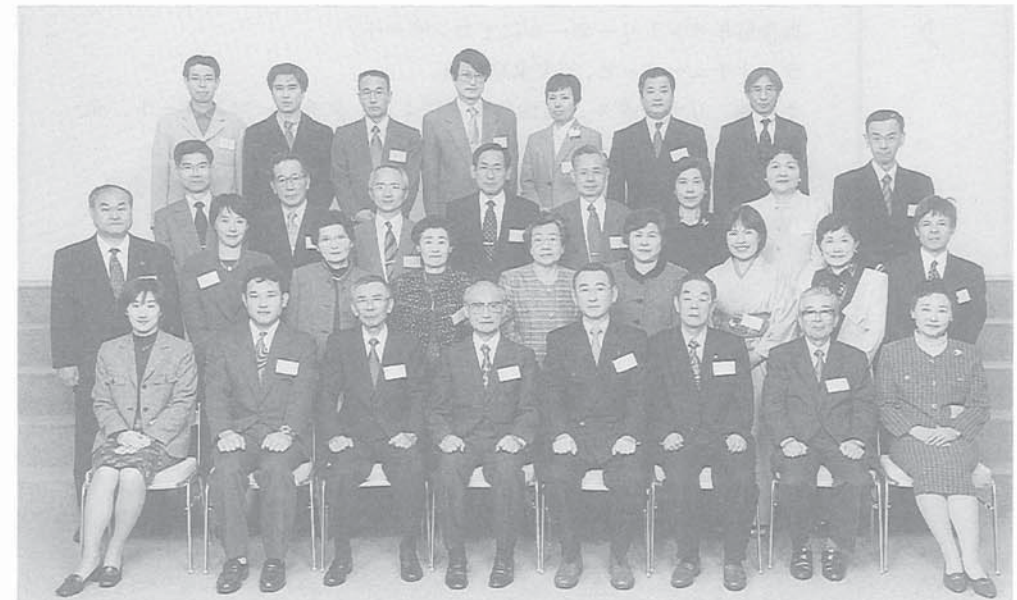
私事で恐縮ですが今春、38年間在職した徳島大学を定年退官いたしました。辞める直前に3年制医療短大から4年制医学部保険学科への昇格が決まり、四国地区、ことに徳島80万県民の期待は大きいようです。高々時代に書道部で少々、書の真似事をしておりましたが、医者になってから時折、学会の垂幕などを書いていたものですから、保健学科の看板書きを頼まれています。

書といえば徳島の朗報として、平成14年開館を目指して徳島市内に書道美術館が建築中です。全国的には250箇所あるそうですが、阿波所縁の書家（貫名菘翁、小坂奇石、中林悟竹）の作品を主にして特徴を出すとのこと。これからは健康の許すかぎり、高々時代より40年余の空白を埋めるべく墨香に親しみ、

多くの名跡・能書に接したいものです。因みに昨年は四国空海展で真筆を拝観できました。

徳島玉翠会にとっても、21世紀の初頭に当り、何らかの新機軸を打ち出すべく模索中です。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

会 長	磯部淳一（S29年卒）
副 会 長	渡辺 謙（S33年卒） 渡辺恵子（S34年卒）
事務局 長	会長兼務



第八回徳島玉翠会総会 平成12年11月19日 於 ホテルクレメント徳島

ピアノ **伊藤エイミーまどか**

ニューヨーク生まれ。双葉高等学校卒。国立音楽大学卒。  
 ミュンヘン音楽大学に留学。名ピアニスト、ギッティビルナー教授  
 のもとで、研鑽を積む。1991年から、青山こどもの城での「五線譜  
 のなかの動物たち」シリーズのピアニストとして出演。  
 また、150年前のスクエアピアノによるコンサートや、幼児連れの母  
 親を対象にした「母と子のためのコンサート」を全国各地で催し話  
 題となっている。  
 CD「不思議なピアノ」(東芝EMI)、作曲「箏とピアノのための二重奏、海の子  
 守り歌」発売中。

フルート **白川真理**

東京生まれ。香川県立高松高等学校52年卒。武蔵野音楽大学卒。  
 '84~'86年、ミュンヘンにてアドリヤン女史のもとで、研鑽を積む。  
 茅笛の会ヨーロッパ公演に参加。  
 '90年より作曲家、川崎優氏が率いる「ムジカフィオーレ」に参加し、  
 以後毎年サントリーホールにてコンサート。  
 ラジオチューリップ、TV東京出演。  
 その他、リサイタル、自治体依頼によるレクチャーコンサート、企  
 業によるプロデュースコンサート等で活動中。  
 また、ボディマッピングを基本とするレッスンで、多くの後進を指導。  
 (財)ヤマハフルート講師。グレード試験官。

平野年紀

1958年香川県高松市に生まれる。  
 1977年香川県高松高校卒業。  
 1984年京都市立芸術大学大学院修了。  
 現在、香川県立高松工芸高等学校美術科勤務。

[制作意図]

瀬戸内の温暖な気候にめぐまれた香川の人情味あふれる県民性は、  
 私たちの貴重な持ち味であると思う。県外で活躍されている方々も、  
 こちらに帰るとほっとされるのではないだろうか。しかし、ふるさ  
 とを離れた皆様がエネルギーにあふれ、日々活躍されていることに  
 エールを送るとともに、私自身が青春の時間に母校で抱いた理想や  
 大志をもう一度思い返してみたいという意志をこめて、今回はあえ  
 てビビッドな強い色彩を選んでみた。そしてもちろん、その中に香  
 川のやさしさをあらわすフォルムも忘れないように心がけた。

表紙デザイン／松下典生 (アートディレクター)

へ 編 集 後 記 へ

今回のプログラム作成にあたり、たくさんの方々には様々なご支援をいただき本当にありがとうございました。ご多忙を押して執筆の労をおとりいただいた企画コラム執筆者10名、同好会・愛好会の幹事の方々10名、各地の玉翠会幹事の方々3名、さらには「親子3代高高」座談会に出席いただいた皆様方、そして本当に多数の広告掲載にご協力いただいたの方々。同期をはじめとする高松の皆さんからの熱い応援等々。おかげでなんとか21世紀のスタートを飾るにふさわしい東京玉翠会プログラムが出来上がったと感謝しております。

新世紀において益々興隆・発展する玉翠会を祝い、私たちの絆をより確かなものとする大切な礎として私たちが今年のテーマに選んだ「温故知新」を少しでも紙面で具現できれば、との思いで製作にあたらせていただきました。

今回東京玉翠会第19回総会の幹事を務め

るにあたり、我々昭和52年卒業同期生は、総務幹事の植松健、合地仁美を牽役に総勢56名の大幹事団を編成しました。

進行パート野中真理他8名、来賓パート伊藤尚他3名、プログラムパート田中信重他6名、景品・広告パート松下光志他11名、物販パート安川文子他10名、動員パート神崎俊他8名、会計パート正岡忠他2名、Web&書記担当板東和美、ゴルフ担当折目尚也の面々です。

幹事をさせていただいたことを機に今後一層結束力をもって楽しく元気にがんばっていきたいと思っています。

プログラム作成パート

曾我部晋司 松下 光志  
 田中 信重 松田欣末子  
 田村伊知朗 吉田 悟  
 林 祐一

# 高松中學校校歌

(大正4年9月制定)

作詩 藤井静夫  
作曲 安田俊高

Moderato



1. あ さ ひ か が や く や し ま や ま さ さ な み  
よ す る た ま も う ら へ ー い わ み な ん り そ の ひ ひ  
き せ ー い き あ ふ る そ の ひ か り わ が ま な  
び や に ー み ち み ち て い そ し む け ん じ  
い っ せ ん よ せ ひ る が へ せ ー

(電脳浄書/音源 26: 河江一仁)

- 一、朝日輝く屋島山  
小波寄する玉藻浦  
平和漲る其の響  
生氣溢るゝ其の光  
我が學舎に充ち満ちて  
勤しむ健兒一千餘
- 二、御稜威と共にいや高く  
朝夕仰ぐ碑は  
日嗣の皇子の行啓の  
千代に朽ちせぬ記念なる  
奮闘努力の健男兒  
ゆめな忘れそそのかみを
- 三、厳冬霜雪色變へぬ  
紫雲の松を名に負へる  
我が中學の健兒等よ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名譽の旗を翻せ……翻せ

# 高松高等女學校校歌

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原虎一  
作曲 内藤 蝶

Andante



1. み れ ど も あ か ぬ た ま も の う ら ー ち  
ひ ろ の そ こ ー に し づ ー く な る ー そ  
の し ら た ま ー の う る ー は し き ー  
よ ー き こ こ ろ を み が か む み が か む を  
と ー め わ れ ー 2. あ と ー め わ れ ー

(電脳浄書/音源 26: 河江一仁)

- 一、見れども飽かぬ玉藻の浦  
千尋の底にしづくなる  
その白珠の麗はしき  
清き心を磨かむ  
磨かむ…、をとめわれ
- 二、朝夕仰ぐ屋島の山  
峰の上はるかに並び立つ  
その山松の色變へぬ  
高き操を守らむ  
守らむ…、をとめわれ
- 三、開くる御代の幸多き  
身にはつとめもさはなれば  
うら若き日をたゆみなく  
をみな業を習はむ  
習はむ…、をとめわれ
- 四、いや榮ゆく皇國の  
生ける効ある御民ぞと  
仁慈あまねき大君の  
みこと畏み盡さむ  
盡さむ…、をとめわれ



# 高松高等学校校歌

(昭和26年12月17日制定)

作詩 河西新太郎  
作曲 芥川也寸志

con brio (♩=108)

*mf*



1. せい きー あらた なひ には えて あ さぐ もに おう



や し ま やま おゝ ま ゆ き よ き わ こう ーどが



こ う が く の ねん ゆ る ぎ な く は つ ら つ こ そ



る い き を み よ よ

(電腦浄書/音源 26 : 河江一仁)

- 一、世紀新たな陽に映えて  
朝雲匂う屋島山  
おゝ眉清き若人が  
向学の念揺ぎなく  
澆刺拳る意気を見よ
- 二、平和輝く波よせて  
鏡と澄める玉藻浦  
おゝ純潔の若人が  
真理の道を究めゆく  
独立自主の熱意見よ
- 三、仰ぐ紫雲の松風に  
雪持笹のさみどりに  
おゝ希望わく若人が  
自由と愛の血に燃ゆる  
わが高松高校の自治を見よ

# 高松高等学校校友会の歌

(…朝日輝く…)

作詩 藤井静夫  
作曲 不詳

Moderato



1. あ さ ひ か が や く や し ま や ま さ



さ な み よーす る た ま も う ら へ い わ み な



ぎ る そ の ひ び き せい き あ ふ る る そ



の ひ か り わ が ま な び や に み ち み ち て い



そ し む け ん じ い っ せ ん よ せ

(電腦浄書/音源 26 : 河江一仁)

- 一、朝日輝く屋島山  
さざ波寄する玉藻浦  
平和みなぎるその響き  
精気あふるるその光  
我が学舎に満ち満ちて  
いそしむ健児一千余
- 二、嚴冬霜雪色変えぬ  
紫雲の松を名に負える  
我が高松の健児らよ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名譽の旗をひるがえせ



## 高高 高高

1. 高高 高高 高高 栄えあるその名  
高高 高高 高高 我等が母校
2. 高中 高中 高中 栄えあるその名  
高中 高中 高中 我等が母校
3. 高女 高女 高女 栄えあるその名  
高女 高女 高女 我等が母校
4. 高高 高高 高高 栄えあるその名  
高高 高高 高高 我等が母校

## ふるさと

- 一、うさぎ 追いし かの山 小ぶな つりし かの川  
夢は今も めぐりて 忘れがたき ふるさと
- 二、いかに います 父母 つつがなしや 友がき  
雨に風につけても 思いいずる ふるさと
- 三、こころざしを はたして いつの日にか 帰らん  
山は青き ふるさと 水は清き ふるさと



## 東京玉翠会会則

### 第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

### 第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。  
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

### 第三章 役員

(役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1名
- (5) 幹事 その員数は次条第2項の定めによる
- (6) 監事 3名

(役員を選出)

- 第10条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。
- 2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各1～2名を選出する。
- 3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。
- 4 常任幹事のうち1名を事務局長、1名を会計担当として会長が指名する。

(任期)

第11条 役員任期は2年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

- 第12条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。
- 3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。
- 4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
- 5 監事は本会の会計を監査する。

### 第四章 会議

(総会)

- 第13条 1 総会は会長の招集により毎年1回開催する。  
なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。
- 2 総会においては、次の行事を行う。
- (1) 会務及び会計報告
  - (2) 会員の親睦を図る行事
  - (3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

第14条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議長)

第15条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議決)

第16条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

### 第五章 会計

(会計)

第17条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終る。

### 第六章 その他

(顧問)

- 第19条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。
- 2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

### 附 則

第1条 本会則は昭和58年6月25日より施行する。

## 寄贈図書目録

皆様にご協力いただきました母校図書購入資金で下記の  
図書が、特別コーナーを設けて揃えられております。  
今年もなにとぞご協力をお願いいたします。

年 度	出 版 社	書 名	巻 数
平成 2	未来社	宮本常一集	4 3
2	平凡社	東洋文庫「日本の古典」	1 0
2	平凡社	東洋文庫「日本の風俗と社会」	1 3
3	平凡社	東洋文庫「アラビアン・ナイト」	1 7
3	平凡社	東洋文庫「智恵の七柱」	3
3	平凡社	世界の民族	2 0
4	平凡社	南方熊楠全集	1 2
4	角川書店	鑑賞日本古典文学	3 6
5	科学新興社	モノグラフ数学	2 6
5	講談社	世界の大遺跡	1 3
5	河出書房新社	新文芸読本	1 3
6	新潮社	カフカ全集	1 2
6	清水書院	人と思想	1 2 1
6	O X F O R D	Oxford Children's Encyclopedia	7
7	岩波書店	幸田文全集	1 5
7	岩波書店	1000万人のコンピュータ科学	3
7	集英社	中上健次全集	9
8	集英社	中上健次全集	6
8	岩波書店	幸田文全集	1 3
8	岩波書店	丸山眞男全集	8
9	文泉堂	壺井栄全集	1 0
9	日本図書センター	作家の随想	1 0
10	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	5
11	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	4
11	岩波書店	志賀直哉全集	1 4
12	岩波書店	志賀直哉全集	7
12	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	4

皆様のご芳志に対して、心から厚くお礼を申し上げます。  
ご芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、  
在校生・職員等の閲覧に供してありますことをご報告いたします。  
平成13年 4 月 高松高校図書館

## 祝

### 第19回東京玉翠会総会

第19回東京玉翠会に

ご協力ありがとうございました。

物品等をご寄贈頂いた方々

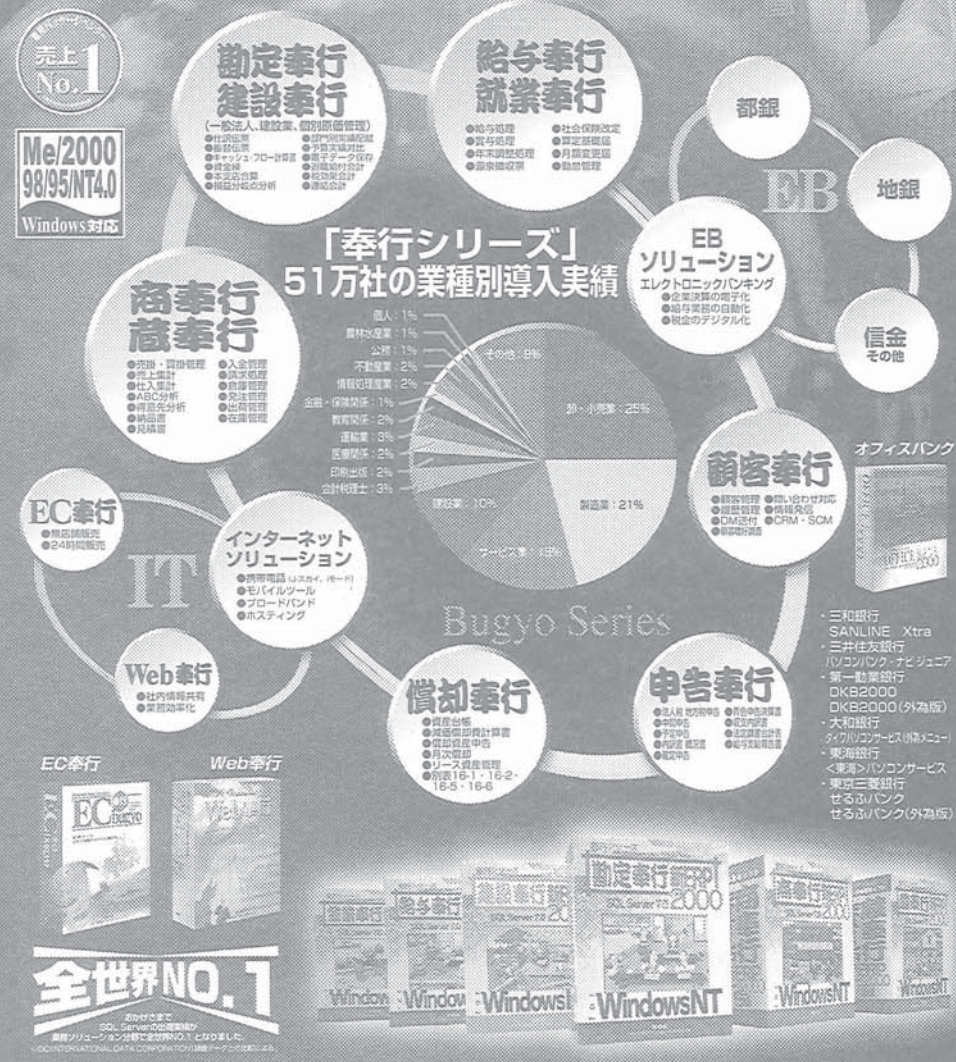
(順不同・敬称略)

株式会社 志満秀	株式会社 小学館
株式会社 宗家くつわ堂	住友生命保険 相互会社
綾菊酒造 株式会社	日本ハム 株式会社
株式会社 うどんの庄かな泉	日産自動車 株式会社
一和堂工芸 株式会社	東京プリンスホテル
株式会社 東海屋	リオテイントジャパン 株式会社
株式会社 日本エアシステム	株式会社 宝島社

# 21世紀のビジネス戦略を 奉行シリーズで実現。

勘定奉行の

「お客様を増やしたい」「売上を伸ばしたい」「あれもこれもしたい」  
そんなお悩みを、最先端のインターネットWebソリューションから豊富な基幹業務システム、  
さらには、EBソリューションを取り揃えているOBCが、  
トータルにサポート。企業の枠を超えたビジネスモデルの構築が可能です。



株式会社オービックビジネスコンサルタント  
 URL <http://www.obc.co.jp>

東京 1163-0480 東京 03-5433-1111 新宿 03-5433-1111 新橋 03-5433-1111 横浜 03-5433-1111 仙台 03-5433-1111 札幌 03-5433-1111 福岡 03-5433-1111 沖縄 03-5433-1111



ビールは20歳になってから。あきかんはリサイクル。  
 ご協力をお願いする自治体による自治体の自治体は、  
 自治体から自治体まで自治体で自治体です。  
<http://www.sapporobeer.co.jp/yebisu/>

いいものだけを  
**サッポロビール**

MITSUBISHI  
三菱電機

第19回東京玉翠会総会開催  
おめでとございます。  
うどんはやっぱり讃岐うどん、  
エアコンはやっぱり霧ヶ峰。  
暑い暑い讃岐の夏も、  
冷やしうどんと霧ヶ峰があれば、快適ですね。

うどんは讃岐、  
エアコンは霧ヶ峰。

おしながき



清潔・省エネ宣言

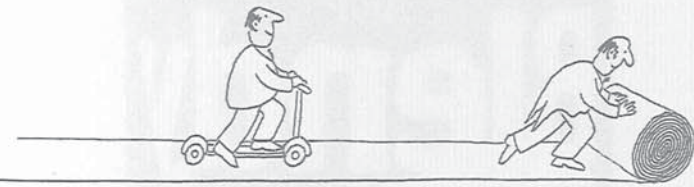
感じる霧ヶ峰



木造8畳まで 鉄筋11畳まで MSZ-SFX28H-W,-T,-H形 オープン価格 (オープン価格の商品は、希望小売価格を定めています。)


三菱電機株式会社

それでは、人生をお楽しみください。



S.GROSS

お金は、大事です。でも、毎日お金のことを考えるのも嫌なものです。仕事に集中したい。趣味に熱中したい。ゆっくりと老後を過ごしたい。そんなあなたにも、先の見えにくい金融自由化の嵐がやってきています。ただお金を預けっぱなしにしておけばよかった時代は、残念ながら終わってしまいました。資産は、有効に運用する時代が来たようです。そこで、資産運用。私たちメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズは、グループ全体で約61兆円の運用総額を誇る世界最大級の資産運用グループです。また、世界数十ヶ国にネットワークを持ち、総勢700人を超えるファンドマネージャーやアナリストたちを組織して、日夜情報を統合し、努力を続けています。あなたは最終的な判断をしていただくだけ。毎日お金のことを考える。そんな面倒なことは私たちが請け負います。それでは、人生をお楽しみください。

 **Merrill Lynch** Investment Managers

メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズ株式会社 www.mim.co.jp ※メリルリンチ・マネージャー投資顧問株式会社は、2000年12月1日に、メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズ株式会社と社名変更いたしました。 ※数字は2000年9月末現在

Coffee Please.  
AGF

カフェオレは  
まかせてちょうだい  
ブレンディ。

AGF  
**Blendy**  
カフェオレに  
しよう!  
Blendy, rich aroma and mellow taste  
will truly enhance your relaxation  
moments. Try Blendy  
and you will love it. 200g  
Mellow & Rich

深く、澄んだ味。  
**Blendy**

30  
Anniversary  
JAS  
Thanks & Challenge

Happy Birthday  
バースデー割得

創立30周年のありがとう。  
あなたの誕生日を記念して、  
JASだけのおトクな割引。  
JASの国内線なら全国どこへでも

¥10,000

お誕生日から15日間、しかも、お二人までご利用いただけます。  
ご搭乗の21日前までにご予約ください。

●ご利用期間: 5/15~7/31、8/21~9/30ご搭乗分(ご搭乗の21日前までにご予約ください)、ご搭乗のお客様の誕生日以降15日間(誕生日を含む)。  
※8/1~8/20ご搭乗分は次の期間に振り替えさせていただきます。<誕生日が7/18~7/31のお客様は7/17~7/31(ご搭乗分)に振り替え、誕生日が  
8/1~8/20のお客様は8/21~9/4(ご搭乗分)に振り替え> ※2002年5/14まで継続する予定です。●ご利用対象者: ご本人と同行者1名様まで。  
●顔写真付きの公的書類等が必要です。●ご予約の変更はできません。販売席数には限りがございます。●ご利用条件等、詳しくはお問い合わせください。

JAS  
E-MAIL  
予約75%

【ご予約・ご案内】 ☎0120-5-11283 <http://www.jas.co.jp/> GOOD SPEED ALWAYS JAS



そうか、ライフを相談できるから、ライフプランナーなのか。

ソニー生命のライフプランナーは、お客様が幸せな生活をまっとうするまで、役立つ存在であることを理想としています。つまり、一生にわたっての暮らしに欠かせないお金の動きと、その時々リスクをともに考え、備えるお手伝いをしていくことです。家計や財産の守り方が変わってくるこれからの時代、ソニーグループもさまざまな新しい金融サービスの提供を目指しています。その一員としてライフプランナーは、金融全般の知識と経験をさらに養い、生涯コンサルタントとしてお客様のそばでお役に立ち続けたいと願っています。

あなたもライフプランナーに会ってみませんか。

※個人・法人どちらのご相談も下記までご連絡下さい。

www.sonylife.co.jp

コンサルティングの  
**ソニー生命**

品川ライフプランナーセンター第3プログループ支社  
コンサルティングライフプランナー・MDRT2001会員  
三好英彦(昭和56年卒)  
TEL:03-3491-6971 FAX:03-3491-6960

※「ライフプランナー」は登録商標です。



品質保証の国際規格ISO9001認証取得

墓石業界唯一の株式会社店頭上場

常にお客様へ、心のやすらぎをお届けいたします。

墓地・墓石・ご葬儀、そして

生きがいつくりの生涯学習ご支援

私どもニチリョクにお任せください!!

心をこめたサービスをお約束いたします。

本社

〒167-0023

東京都杉並区上井草 1-33-5

株式会社 ニチリョク

TEL 0120-300-100  
FAX 03-3397-3003

墓地墓石事業本部(営業本部)

お墓について 0120-82-1426

愛彩花事業本部

葬儀について 0120-41-9426

お互い様ねっとわーく本部

お仲間作りは 0120-86-0030

**GODAは、  
地球環境【貢献】企業へ。**

「企業として」「人として」の原点から一。

環境を守り、自然を育み、人と地球の  
健やかさに貢献するために、  
企業として、人として……  
「合田工務店」は新たな気持ちで  
取り組んでまいります。



**株式会社 合田工務店**  
GODA  
人と街の未来を創る

本社/高松市天神前7-5 TEL(087)861-9155(代) FAX(087)837-2604  
東京支店/大阪営業所/丸亀営業所/観音寺営業所/千葉営業所



**TADANO**

新たに、クラスNO.1の吊り上げ能力を誇る大型トラック架装用クレーンが加わり、いっそう充実のラインアップに。

現場作業の大幅な効率アップを目指して、大型なみのクレーン能力を誇る、中型増トトラック架装用クレーンも新登場。

0.995t吊りから4.9t吊りまで小刻みに揃った全17機種種のワイドバリエーション。用途に合わせて最適な機種が選べます。

画期的な安全監視システム「アイズ仕様」、1台3役の「セルフクレーン仕様」などの高機能機種も勢揃い。

**なるほど、やっぱり、カーゴクレーン。**

新機種、続々。ハイパワー、続々。タダノのカーゴクレーンなら、仕事に、ライバルに“勝つ”一台が選べます。

トラック搭載型クレーン

**CARGO CRANE**

カーゴクレーンZシリーズ

ZR600/580/560/550/500/360(G)/300(G)  
ZR560A/550A/360/300/300J  
ZR290/260/230/220/100

Photo: ZR600 Photo: ZR550A

株式会社 タダノ 本社/香川県高松市新田町甲94番地 TEL. (087) 839-5555(代表)  
東京事務所/東京都墨田区亀沢2丁目4番12号タダノ 両国ビル TEL. (03)3621-7777(代表)

タダノホームページアドレス <http://www.tadano.co.jp>

**Total Financial Planning.**

**イカリ通商株式会社**  
I.T.C. 代表取締役: 天雲 丈裕 (昭和46年生)

本社 〒160-0007 東京都新宿区荒木町11-24イカリ四谷ビル3F  
営業部 〒160-0007 東京都新宿区荒木町5-4クサカビル3F ☎ 03-3226-7550  
大森支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-10大森レインボービル201 ☎ 03-5763-1801

**ANABUKI**

マンションはサバパス

**SURPASS ANABUKI**

イメージキャラクター あなぶきちゃん

これからも、ずっといっしょに。

快適な暮らしをカタチづくるために、私たちができること。それは用地取得から、施工・販売、アフターサービスにいたるまで全部自社で行なうことで、実現します。

より良い住まいを発想し、お客様にサービスをお引き渡した後もスムーズで、きめ細かいアフターサービスを行なっていく——

「マンションの鍵をお渡した時から始まる、お客様との本当のお付き合い」を、これからもいつまでも心地いい住まいを保つために、穴吹工務店は続けていきます。

快適な暮らしを創る

**穴吹工務店**  
ANABUKI

ATD SYSTEM

アナブキは用地取得からアフターサービスまで自社一貫システムで住まいを提供しています。

アナブキ・トータル・デベロップメントシステム

用地取得 → 企画・設計 → 施工 → 販売 → 管理 → アフターサービス

↑ ↓ 各段階のフィードバック

穴吹工務店ホームページアドレス <http://www.anabuki.co.jp>

＜設計・施工＞建設大臣許可(特-9)第1478号 宅地建物取引業免許建設大臣(9)第1545号(社)日本高層住宅協会会員(社)日本リゾートクラブ協会会員 本社:〒760-8520 香川県高松市藤原町1-11-22 TEL: (087) 835-7111(代) / 東京本社:〒104-8478 東京都中央区八重洲2-6-21 八重洲エビル TEL: (03) 3517-2800(代) 支店:関東・関西・中国・四国・九州・東北・中部・水戸・前橋・東京・横浜・新潟・長野・静岡・富山・金沢・京都・大阪・岡山・広島・岡山・徳島・高松・松山・徳島・高松・福岡・大分・熊本・鹿児島・那覇・沖縄 / 営業所:福島・山形・秋田・岩手・宮城・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井・岐阜・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・徳島・高松・松山・岡山・広島・福岡

**LOVEARTH**

**太平洋セメント株式会社**

〒101-8357 東京都千代田区西神田3-8-1 <http://www.taiheiyo-cement.co.jp>

# SO

Sanyo Original

ビクルス、テーブルオリーブ他、地中海食材

おいしい情報発信中!

<http://www.so-food.com>

児玉 光 三 (昭31年卒)

児玉 英二郎 (昭34年卒)

本 社 〒760-0068 高松市松島町1-13-14  
TEL. 087(833)7011

営業本部 〒102-0076 東京都千代田区五番町4-16  
TEL. 03(3288)1181

大阪定業支店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-6-16  
TEL. 06(6300)1320

おいしいさは、いつもオリジナル。  
讃陽食品工業株式会社

## なつかしいあの味に 出会えます。



〒160-0023 新宿区西新宿1-15-9  
柳沢ビル2F・3F  
TEL.03-3342-8889  
●営業時間 11:00~23:00  
年中無休



患患達がかんばっています。  
ご声援下さい。

大藪恵弘 (高34卒)

心から心へ。笑顔から笑顔へ。  
確かな技術とノウハウで、  
人と街を心豊かに彩ります。



JR新高松駅・起工式



### 株式会社 イミハラ

代表取締役 石原 英輝

本社/〒761-8014 高松市香西南町358-1  
TEL(087)882-2231 FAX(087)882-8822  
営業所/高松営業所、丸亀営業所

石原英輝(昭和34年卒)・『讃志会』(昭和34年卒) 事務局  
石原久子(昭和38年卒)・石原裕三(昭和62年卒)・石原加奈子(平成2年卒)

## 三越でのお買物は 三越カードで!

現金でもクレジットでも5%引き



お申し込みいただいたお客様には、その場で  
お申し込み臨時カードを発行いたします。

お申し込み臨時カードは三越カード発行までの間、現金でのお買物が  
5%ご優待になります。(※商品券など一部割引除外品がございます。)  
お申し込みの際は ①預金口座番号控 ②銀行お届け印 ③ご本人を  
ご確認できるもの(運転免許証、保険証など)をご持参くださいませ。



### MITSUKOSHI

高松 〒760-8539 高松市内町7-1  
TEL(087-851-5151(大代表))  
<http://www.mitsuKoshi.co.jp/>

## RIO TINTO

RIO TINTO JAPAN LIMITED

6<sup>TH</sup> Fl, New Pier Takeshiba South Tower  
16-1, Kaigan 1-chome  
Minato-ku, Tokyo 105-6891 Japan  
Tel: (03) 5401-2368 Fax: (03)5401-2385  
Contact: K.T.Nomoto, President

Service, advice, and market and technical  
Information in Japan for companies of the Rio  
Tinto Groups are provided by this company,  
Founded in October, 1996 through the merges of  
RTZ Japan and CRA Japan. Its main lines of  
Business are aluminiums, base metals, minerals, energy  
Fuels, chemicals and diamonds produced in the  
UK, Africa, Australia and North and South  
America.

### 石川税務会計事務所

税理士 石川 肇久  
CFP

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-2  
麹町駅プラザ\*803(有楽町線麹町駅5番出口)

TEL03(5211)1541 FAX03(5211)0777

E-mail:ista@nifty.com

URL:<http://home9.highway.ne.jp/d-tax/>



## 県民とともにあゆむ郷土の新聞

### 四国新聞社

本社●高松市中野町15番1号 TEL(087)833-1111  
四国新聞購読のお申し込みはフリーダイヤル ☎0120-084459

指す! 指す!



## RNC西日本放送

高松本社 〒760-8575 高松市丸の内8番15号 ☎(087)826-7333 岡山本社 〒700-0971 岡山市野田3丁目2番5号 ☎(086)244-0111

<http://www.rnc.co.jp>

医療法人 和光会  
ハゼ 前田病院

高松市東ハゼ町824 Tel (087) 865-7111

高松老人保健施設・フローラ  
介護支援センター・フローラ  
ホームヘルパーセンター・フォレスト  
福祉用具サービスセンター・コスモス

理事長 前田雅彦  
副院長 前田典子 (昭和47年卒)  
フローラ  
施設長 島田潤子 (昭和43年卒)  
(旧姓 前田)



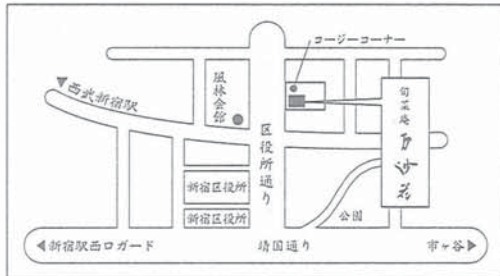
煌めきの...



各地発送承ります。

東海屋  
香川県高松市東町1121-1  
TEL (087) 844-1112代  
FAX (087) 844-0188番

お問合せは ☎ 0120-801112



〒160 0021 新宿区歌舞伎町二丁目一〇一七  
電話 03(3203)8887  
マイヤメントビル1階  
料理長 磯崎政文  
店主 稲田正子  
稲田 正子  
自業 四十二年卒

薬のプロは、健康のプロでもあります。

A あさ調剤薬局

- 寒川店 (大川総合病院斜め前)  
大川郡寒川町石田東甲385番地12号  
TEL.0879-43-2838
  - 津田店 (津田病院前)  
大川郡津田町津田1661-1  
TEL.0879-23-7115
  - 津田本町店 (満洲内科循環器クリニック隣)  
大川郡津田町津田1048-2  
TEL.0879-23-7520
- 阿佐正公 (高高41年卒)

(株) フジカナ工

代表取締役 藤本 烈 (高高30年卒)

東京事務所 〒107-0052 東京都港区赤坂9-2-11-204  
TEL 03(5410)0222 FAX 03(5410)0224



下水道設計・土木設計・測量調査  
日新技術株式会社

代表取締役  
恵比須 忠  
(S42年卒)

本社 〒160-0023  
東京都新宿区西新宿7-17-6 第3和幸ビル  
TEL 03-3371-5991 FAX 03-3371-5994  
札幌事務所・仙台事務所・広島事務所・福岡事務所

「日本一美味しい」さぬきうどんを全国に

JR四国グループ  
株式会社



本社  
〒769-0203  
香川県綾歌郡宇多津町浜三番丁36-2  
TEL 0877-49-6111 FAX 0877-49-6110  
ホームページ  
<http://www.townlink.ne.jp/merikenya/>  
E-Mail  
merikenmb@pop01.odn.ne.jp

代表取締役社長 諏訪 輝生 (昭和41年卒業)

婦人科・産科・内科

東クリニック 東 弘子 (40年卒)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-30-3  
ビラージュ笹塚Ⅲ4F(京王線笹塚駅徒歩1分)  
TEL 03-3481-0380

祝

第19回 東京玉翠会総会開催

東京晩翠部会

足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所

弁護士 宮武 敏夫  
(高高31年卒)

〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-8  
井上赤坂ビル5F  
TEL 03-5562-0910  
FAX 03-5562-0916



東京玉翠会会員の方を対象に、  
海外旅行商品LOOK JTBを**5%OFF**にて  
ご案内いたします。  
お気軽にお問い合わせ下さい。  
※ルックJTB Slimは割引対象外となります。  
お申し込みの際には「東京玉翠会会員」の旨お伝え下さい。



**JTB海外旅行虎ノ門支店**  
東京都港区虎ノ門1丁目26番地5号 虎ノ門17森ビル7階  
営業第4課・池内グループ 堅川、池内  
TEL: 03-5512-0510 FAX: 03-5512-0526  
E-MAIL: kaitora-122@syt.jtb.co.jp

心のふれあい 技術のかけはし

極東産業株式会社

取締役会長 中村文俊 (高中50回卒)

- 装置・機械 (汙過機・攪拌機・熱交換器)
  - 設備機器 (タンク・パイプ・伸縮継手等)
  - 防蝕ライニング ■エンジニアリング・工事
- 本社 東京都港区新橋5-10-5  
☎03-3433-4761  
青山分室・中部支店・京葉支店



- ゲームソフトプログラミング
- CD-ROM企画・制作・デザイン
- ホームページ企画・制作・デザイン

有限会社ハイロック 小山宏記 (高高53年卒)  
154-0071 東京都渋谷区本町2-33-20-404  
TEL03-5334-7595 FAX03-5334-7596  
E-mail: koya@verde.co.jp

阿部・井窪・片山法律事務所

弁護士  
**伊藤 尚**  
(昭和52年卒)

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目8番7号 福岡ビル9F  
電話 03(3273)2600(代表)  
FAX 03(3273)2033



〒761-8056  
香川県高松市上天神町768-2  
TEL(087)867-1111(代)  
FAX(087)867-8762

独創技術と豊富なキャリアで  
多彩な分野でお手伝い!

[製品] 各種シート、印刷自動検査システム

代表取締役 平田 喜一郎

**FUTECH**  
品質管理のインライン化をお手伝いします  
株式会社フューテック  
■本社 〒761-0301 高松市林町1217番地  
TEL 087(867)8691  
■QCインライン研究所  
〒761-0301 高松市林町2217-5  
TEL 087(869)3411  
■支社 東京、東海、西部  
■営業所 仙台、横浜、名古屋  
■海外 FIC(米国)  
FEL(英国)

城北建設株式会社

高松市郷東町796-122  
TEL (087) 881-5689  
FAX (087) 881-5464

代表取締役 細谷 芳久



\*\*\* Sincerity \*\*\* Love \*\*\* Harmony \*\*\*

株式会社クリーンエンジニアリング

高松市昭和町1-8-19  
TEL (087) 861-5832  
FAX (087) 862-5848

高高35年卒

松木 恭一

**進化するインターネット展開**  
**戦略からマーケティング、デザイン、システムまでトータル対応**

**BEST PLANNING**  
 Marketing Communication & Creative Agency

**株式会社ベストプランニング**  
 代表取締役社長 打越 暉芳 (高高38年卒)

〒102-0074  
 東京都千代田区九段南3丁目9番1号 5F  
 TEL: 03-3262-5678 (代表)  
 FAX: 03-3262-5567  
 E-mail: uchikoshi@bp-net.co.jp

●自己実現へのロマン—いま、手軽なものに。  
**自分史出版のご案内**

専門家や、技術スタッフ陣が  
 あなたの本づくりをゆたかに演出します。  
 東京支社長 池上 晴英 (S45卒)

**株式会社美巧社** 総合印刷・出版

東京支店 ●東京都文京区小石川2-2-14 ☎(03)3813-8231 FAX(03)3813-8234  
 本社 ●香川県高松市多賀町1-8-10 ☎(087)833-5811 FAX(087)834-1264  
 坂出支店 ●香川県坂出市旭町3-1-23 ☎(08774)6-1005 FAX(08774)6-1005  
 INEX事務部 ●香川県高松市常盤町2-6-17 ☎(087)831-0881 FAX(087)833-9839

通信・設備・土木工事で  
 四国のインフラを支える企業

快速生活提供企業=ハートフル“カナック”

**株式会社 カナック**  
 代表取締役社長 大西 大介 (昭和35年卒)

地元(香川)で働いてみませんか  
 詳細についてはホームページ、  
 または電話で確認して下さい。

〒761-0492 高松市三谷町136番地  
 TEL(087)889-8111 FAX(087)888-1115  
 ホームページ <http://www.kanac.co.jp>  
 E-mail info@kanac.co.jp  
 担当 総務部 阿部



**http://www.sansai.co.jp**

**Kagawaken Takamabusi Minamisinmachi 11-1**  
**TEL 087-861-5430**

**株式会社C.S.S技術開発**

代表取締役 高城 雄三 (高高45年卒)

◆営業内容 [ 基準点測量、現況測量、出来形測量、現場測量 ]  
 測量コンピュータ販売、測量機器レンタル・販売 ]

本社 〒206-0014 東京都多摩市名田1251 サークビル  
 TEL0423-73-1292代 FAX0423-73-2330  
 札幌営業所 〒064-0914 札幌市中央区南十四条西6丁目 行啓通りビル  
 TEL011-511-2831 FAX011-552-2141  
 高松営業所 〒761-8058 高松市勸使町1205 TEL087-865-3744

歴史に名高い駈込寺

〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内一三六七  
 TEL 045-727-1663  
 井上 米輝子 (S45年卒)

松尾 東茶屋

**adc** 株式会社エイデザインセンター  
 TEL 03-3809-0591

**INOUE** 井上美術印刷株式会社  
 TEL 03-3819-0821 (代)

代表取締役 井上 榮 (高高33年卒)

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-4-9 FAX 03-3895-5367

本郷総合法律事務所

弁護士  
**奥 條 晴 雄**  
 (昭和52年卒)

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目40番7号  
 YGビル4F  
 電話 03 (3813) 1855  
 FAX 03 (3813) 1856

**大西昭一郎法律事務所**

弁護士  
**大西 昭 一 郎**  
 (高高33年卒)

千代田区丸の内3-1-1国際ビル829区  
 TEL 03-3212-0841 (代表)

**税理士山口修会計事務所**

税理士  
**山 口 修**  
 (高高33年卒)

事務所 東京都北区赤羽1-37-13  
 城北ハイツ 205  
 TEL 03-3903-4111

**52年卒香川県職員は、郷土香川の発展のためにがんばっています!!**

大垣和正 大林設能 岡直樹 小河恵朗 木虎 淳 木原幹雄  
 窪保彦 氣多拓夫 小塚(上枝)孝子 末澤保彦 高橋(西條)洋子  
 谷本武繁 中條雅文 長野(宮武)邦江 西山淳一 福田真一  
 古川京司 北條ひとみ 山田泰子 和木茂雄 脇谷修司 渡邊勇人

ご宴会の予約 承ります (4名以上~500名)  
 恵比寿ガーデンプレース、新有楽町ビル プリアン、さがみ、両国ピアステーション など

**エス・アール商事(株)**

代表取締役 中村米雄 (高高32年卒)  
 TEL. 03-3208-6126 FAX. 03-3208-6127

## 森岡クリニック

外科・胃腸科・内科・肛門科  
皮膚科・整形外科・アレルギー科

森岡 暁 (高高39年卒)

松戸市上本郷4384  
TEL 047-361-3161

## ひびき法律事務所

弁護士 小倉良弘  
(高高39年卒)

〒160-0004 新宿区四谷1-8 四谷一丁目ビル8階  
TEL 03-3355-2268  
FAX 03-3355-2308

## DENTAL OFFICE サナダ歯科

真田 晋作  
(高高55年卒)

高松市勅使町536-2  
TEL 087-840-0648

## おもしろいこと いっぱい!



TAMAGAWA KINDERGARTEN

学校法人 多摩川学園  
**多摩川幼稚園**  
園長 濱川喜亘 (52年卒)

〒197-0825 東京都あきる野市雨間430番地 TEL042-558-0218  
ホームページ <http://www.inf-ca.co.jp/tamagawa/index.html>

日本筆跡診断士協会(会長 森岡恒舟 高高27年卒)

理事・認定筆跡診断士

久保 醇治 (高高27年卒)

〒195-0061 東京都町田市鶴川4-28-16  
TEL&FAX042-735-3646

本部 〒113-0034 文京区湯島3-8-9 松本ビル  
TEL:03-3837-7531 FAX:03-3837-7621

伝えたい心を育てる




英会話・翻訳・企業研修

言葉は心を伝える道具です。  
皆様ご自身の成長を上手に思いこませよう  
お手伝いいたします。

日本全国どこでも承ります

有限会社ベアーズコミュニケーションズ  
本部 つかば市地蔵2-25-18  
tel/fax 0298-58-0208  
代表取締役 奥村 真知 (50年卒)  
<http://www.tins.ne.jp/~bearscommu/>



明日への種を育てています。

讃岐特産種子生産卸  
全国農園芸資材取扱

株式会社 **橋本種苗園**

高松市多賀町一丁目多賀神社前  
TEL.087-831-2262(代) FAX.087-831-5433

## 新日本印刷 株式会社

フルデジタルシステム化により  
様々なニーズにお応えする  
フレキシブルで確実な  
パフォーマンスを提供します

〒104-0045  
東京都中央区築地2丁目1番16号  
TEL. (03) 3543-6000

土と岩と水とともに・・・ ・地質調査/地下水調査/水源開発/さく井工事/ホーリング工事  
(登録・許可:地質調査業、建設コンサルタント、測量業、建設業)



## 田村ボーリング株式会社

本社/ 〒760-0007 高松市中央町6-19-21田村ビル TEL087-833-7878  
岡山支店/ 〒700-0975 岡山市今2丁目6-10 内田ビル TEL086-243-3123  
東京事務所/ 〒272-0826 市川市真間2丁目12-14-201 TEL047-326-4500

## 小佐野歯科医院

小佐野 千重子 (45年卒)  
(旧姓 林)

〒226-0011 横浜市緑区中山町68-1  
TEL (045) 934-3003



## HACL 平川音響株式会社

NTT 特約店  
NTT テレカ代理店

取締役総務部長 平川 峰子 (42年卒)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目12番12号 TEL. (03)3232-3001  
FAX. (03)3232-8110

E-mail アドレス mineko-h@hacl.co.jp ホームページ <http://www.hacl.co.jp>  
画像通信、監視カメラシステム等お気軽にご相談下さい。



## 太田製薬株式会社

埼玉県大宮市三条町51番地


TEL 048(623)3111 FAX 048(622)0691

代表取締役会長 渡辺 和彦 (昭和46年卒)

鳥とりなか 仲

中野 京子  
(高高38年卒)

〒103-0025  
東京都中央区日本橋茅場町3-2-3  
邦山堂ビル  
TEL (3661) 8748



## 白川真理フルートリサイタル

Mari Shirakawa Flute Recital

2001年12月14日(金) 6:30pm開場 7:00pm開演 ルーテル市ヶ谷(3000円)全自由席  
ブーランニク/フルートソナタ 他

お問い合わせ 野中真理(52年卒) TEL・FAX 045-981-3127/メール e-nonaka@mvi.biglobe.ne.jp

<p>社会福祉法人 賛育会  <b>賛育会病院</b>          内科部長  <b>合地 研吾</b> (昭和47年卒)          〒130-0012 東京都墨田区太平3-20-2          TEL 03-3622-9191(代) FAX 03-3623-9736</p>	<p><b>川原耳鼻咽喉科医院</b>          高松市瓦町2-7-20 (菊池寛通)          瓦町駅より徒歩2分          ☎ (087) 834-4731</p>
<p>趣味のきもの・バッグ・小もの  <b>株式会社 馬場呉服店</b>          〒760-0018 高松市天神前8番23号          電話(087) 833-3960(代表) FAX(087) 862-0554  <a href="http://www2.neweb.ne.jp/wd/an-">http://www2.neweb.ne.jp/wd/an-</a></p>	<p>株式会社 <b>カニワトーキョ</b>          代表取締役 <b>岩井 耀子</b>          (高高42年卒)          東京都港区南青山6-8-11          株式会社ウチダレースビル1F (仮営業所)          TEL 03-5774-5484</p>
<p> 皆様のアレキソブルコミュニケーションパートナー          総合広告代理店  <b>株式会社オリコ</b>          〒760-0066 高松市福岡町4丁目1番4号          TEL(087)851-4151(代) FAX(087)851-4157          代表取締役社長 間島 賢治(高高47年卒)</p>	<p>フランス菓子  <b>春風堂</b>          香川県高松市丸亀町4-7</p>
<p>ファクトリーオートメーションの専門商社  <b>合田商事株式会社</b>          〒761-0101 高松市春日町1706番地          TEL. (087) 843-1231          代表取締役 <b>合田 泰男</b> (昭和44年卒業)          取締役会長 <b>合田 武</b> (昭和32年卒業)</p>	<p> <b>西山司朗法律事務所</b>          弁護士 <b>西山 司朗</b>          〒760-0017 香川県高松市番町1丁目3番6号          TEL 087-821-3373 (代)          FAX 087-821-5592</p>
<p>岡部(株)グループ オカコー四国(株) 協力会社  <b>香川交通運輸有限公司</b>          本社 香川県香川郡香川町浅野1007番地1          TEL (087) 879-3105代表 FAX (087) 879-8764          代表取締役 <b>黒川 一宏</b> (昭和50年卒)</p>	<p>司法書士 <b>松尾和代</b>          行政書士          (高高42年卒)          事務所          〒254-0042 神奈川県平塚市明石町13番25号 吉田ビル2F          電話 (0463)22-3355・22-3376 FAX (0463)21-0808</p>
<p><b>セキヤ法律事務所</b>          弁護士 <b>関谷 利裕</b> (昭54年卒)          〒760-0029 香川県高松市丸亀町6-1 フェスタビル3F          電話 087-826-3880 FAX 087-826-3881</p>	<p>おかげさまで、  <b>品川天王洲</b>  <b>劇場アーツフィア</b>は、10周年          〒140-0002 東京都品川区東品川2-3-16 TEL:03-5460-8511  <a href="http://www.tennoz.co.jp">http://www.tennoz.co.jp</a>  </p>

<p><b>三和会計事務所</b>          米田守宏(昭和52年卒)          高松市藤塚町一丁目2番1号          電話:087-862-6715          FAX:087-863-6520</p>	<p>システムコンサルティング・事業承継コンサルティング  <b>株式会社 ブレインネットワーク</b>          代表 米田守宏(昭和52年卒)          高松市藤塚町一丁目2番1号          電話:087-862-6790          FAX:087-863-6520</p>
<p> 手打うどんすき          シャブシャブ          ちゃんこ          すきやき  <b>甚家</b>          株式会社 ケイアイ・ジンヤ          〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-21-2          オーク西池袋ビルディング          TEL 03 (3980) 6343          FAX 03 (3989) 1605</p>	<p><b>多羽本法律事務所</b>          弁護士 <b>多羽本 伊知郎</b>          〒760-0066 高松市福岡町2丁目25番16号          TEL (087) 851-8470          FAX (087) 851-8424</p>
<p><b>大川タクシー株式会社</b>          代表取締役 <b>佐藤 佳文</b>          (昭和52年卒)          TEL 087(851) 3358 FAX 087(821) 4070          ホームページ <a href="http://www5.gateway.ne.jp/~o-taxi">http://www5.gateway.ne.jp/~o-taxi</a>          Eメール o-taxi@gw5.gateway.ne.jp</p>	<p><b>山崎公認会計士事務所</b>  <b>山崎 隆重</b>          (昭和48年卒)          〒760-0017 香川県高松市番町1-10-1          TEL 087-837-8961</p>
<p>スリッパネーム入れ承ります          有限会社 <b>黒田商店</b>          高松市田町8番12号          TEL (087) 831-5758(代)          FAX (087) 831-5756    </p>	<p><b>しん治歯科医院</b>          香川県牟礼町          昭和52年卒 <b>高橋 伸治</b>          昭和52年卒 <b>高橋 由美</b>          (旧姓 杉山)</p>
<p><b>濱田法律事務所</b>  <b>濱田 清</b> (高高32年卒)          〒102-0093 千代田区平河町1の8の2          山京半蔵門パレスビル604          TEL 03-3221-6261</p>	<p>医療法人社団  <b>米沢整形外科医院</b>          香川県大川郡志度町          昭和52年卒 <b>長町 直子</b>          (旧姓 米沢)</p>
<p><b>宮武医院</b>  <b>宮武 治郎</b>          (高高32年卒)          〒192-0914 八王子市片倉町1221-26          ☎ 0426-36-8317</p>	<p><b>祝</b>  <b>第19回東京玉翠会總會</b>  <b>高松市役所玉翠会</b></p>

<p>化学工業製品製造・販売</p> <p><b>SKK</b> 讃岐化学工業株式会社</p> <p>代表取締役 杉山 雅春 (昭和48年卒)</p> <p>専務取締役 鈴木 紘司 (昭和38年卒)</p> <p>〒760-0065 高松市朝日町4-12-44 TEL 087-851-8836</p>	<p>地域に貢献の出来る明るい工場</p> <p>きょくよう</p> <p><b>旭洋鉄工株式会社</b></p> <p>代表取締役 中野 義弘 取締役 中野 育子 (昭和47年卒)</p> <p>〒761-8073 香川県高松市田村町1172-1 TEL 087-865-6360</p>
---	---

<p><b>アニメーション&amp;ゲーム 企画・制作</b></p> <p><b>Studio OX</b></p> <p>●アニメーションの企画・デザインから、動画仕上げの受注まで、制作全般に亘って承ります。</p> <p>●ゲームの企画・デザイン、プログラム開発、CG彩色まで、プラットフォームを問わず御相談下さい。</p> <p>代表取締役 <b>松元 文一</b></p> <p>〒176-0025 東京都練馬区中村南3-16-7 有限会社スタジオオックス TEL: 03-3577-0471 FAX: 03-0577-0441 E-mail: matsumoto@stox.co.jp</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">祝</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">東京玉翠会 第19回総会</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">東京高々昭和50年卒幹事会一同</p>
--	---

	<p><b>株式会社 コンピュータ・サポート</b></p> <p>コンピュータシステムの受託開発</p> <p>〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目8-13 高谷ビル2階</p> <p>Tel 03-5524-2205 Fax 03-5524-2206</p> <p><a href="http://www.compsupt.co.jp">http://www.compsupt.co.jp</a></p> <p>代表取締役 川久保建男 (高高53年卒)</p> <p>kawakubo@compsupt.co.jp</p>
--	--

祝

第19回 東京玉翠会総会開催

高松高々50年会

<p><b>株式会社タクテック</b></p> <p>顧問 行 芳 昭和43年卒</p> <p>顧問 実千代 昭和48年卒</p>	<p>小早川法律事務所</p> <p>弁護士 小早川 輝雄 (高高29年卒)</p> <p>弁護士 小早川 龍司 (高高56年卒)</p> <p>〒760-0020 高松市錦町2丁目3番16号 TEL (087) 851-3367(代) FAX (087) 851-3368 (香川県弁護士会所属)</p>
---	---

<p>弁護士 <b>川崎 達夫</b> (高高43年卒)</p> <p>高松市亀岡町3番3号</p> <p>事務所 ☎(087)831-3333 FAX(087)831-8726 自宅 ☎(0870)31-3131</p>	<p><b>株式会社 ジャストシステム</b></p> <p>代表取締役専務 浮川 初子 (旧姓:橋本 高高44年卒)</p> <p>〒107-8640 東京都港区北青山1-2-3 TEL 03-5412-3900 FAX 03-5412-3910</p>
---	--

<p><b>香川トヨペット</b></p> <p>〒761-8014 香川県高松市香西南町577-2 TEL 087-882-5555</p> <p>代表取締役 灘波 博司 (昭和53年卒) 監査役 灘波 文子 (昭和26年卒)</p>	<p><b>alico Japan</b> 全国代理士共済会 VIP大型総合代理店推進担当 A I U 保険会社代理店</p> <p>高松サテライトオフィス トータルライフコンサルタント</p> <p><b>辻 敏 弘</b> (高高52年卒)</p> <p><b>アリコ ジャパン</b> 〒760-0017 高松市香川1-10-21 誠光新聞ビル6階 TEL 087-861-4818 FAX 087-861-4832 本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3</p>
--	--

国指定重要文化財8棟・香川県高松市指定文化財9棟  
**屋島山麓の四国民家博物館**  
SHIKOKU MINKA MUSEUM  
高松市屋島中町91 087-843-3111



四国村

《お食事処・休憩所》



●「わら家」  
名物「たらいうどん」  
が自慢の手打ちうどんの店。  
☎087-843-3115



●異人館  
明治建築のモダンな  
欧風2階建の喫茶・民  
芸品店。  
☎087-843-3114

素晴らしい自然と人々の暮らしの歴史に出会える里。



豊かな都市景観を創る

 株式会社 新名工務店

専務取締役 新名孝司 (S.52卒)

MaNacy's

<http://www.manacys.com>  
～ピースアクセサリショップ～

マナシーズは、  
オリジナル・ピースアクセサリの  
ショップです。  
シンプルなものからゴージャスな  
ものまで、洗練されたデザインで  
商品展開しています。  
上記アドレスに是非アクセスして  
みて下さい。

別冊宝島

日本人大リーガーから  
小泉 純一郎まで  
なんでもそろえてございます。

別冊宝島編集長  
松下光志 (昭52年卒)

日本建鉄株式会社

三菱ショーケース事業部

食品店舗向冷凍冷蔵設備の企画から  
施工・メンテまであらゆるニーズに  
お答えします。

美濃弘基 (52年卒)

〒273-0045 千葉県船橋市山手1-1-1  
TEL 047-435-5220  
FAX 047-435-5470

藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘  
(高高26年卒)

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-12 新橋1丁目ビル3階  
TEL (03)3593-7605  
FAX (03)3593-7607



信頼って、一日ではつくれないと思う。

私たち東京海上は、日本のNGO「マングローブ植林行動計画」と「財団法人オイスカ」をパートナーに、東南アジア5か国において、マングローブ林の再生(海の森づくり)に取り組んでいます。

東京海上火災保険株式会社  
東京都千代田区丸の内1-2-1 100-8050  
お問い合わせ先:お客様相談センター TEL (03) 3212-6211 (代表)  
ホームページアドレス <http://www.tokiomarine.co.jp/>

第83回東京香川県人会の集い

に参加しませんか

郷土芸能を楽しみながら

ふるさとの味をご賞味いただけます

開催日時:平成13年11月7日(水)18:00から  
開催場所:日比谷 東京會館  
会費:8,000円 “おみやげ”多数ございます。

東京香川県人会会長 松平 頼武  
東京香川県人会理事 井関 賢治  
(東京玉翠会代表)

連絡先:香川県東京事務所内 東京香川県人会  
TEL03(5212)9100 FAX03(5212)9101

お茶の  
白石園

高松市磨屋町5-1

TEL・FAX 087-821-5827

白石 徹 (昭52年卒)

Speed Service Security  
SANSHUSHA

総合印刷・情報処理  
株式会社 三州社

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-21  
TEL.03-3433-1481 FAX03-3459-8595

## 祝・第19回

高松も、東京も、日本中の仲間も、心を  
幹事年度52年

赤松勝彦	岡田克治	工藤謹正
秋山浩一	岡田憲明	窪保彦
朝倉一郎	岡直樹	気多拓夫
穴吹昇三	小河恵朗	合地(中村)仁美
天野盛資	奥條晴雄	五嶋孝博
池崎秀和	小瀬木滋	小島光司
井坂司	折目尚也	小塚(上枝)孝子
石垣恵三	片岡敬博	後藤陽
伊賀裕晃	加藤(一村)玲子	佐藤雅彦
伊藤尚	亀山(三木)祥子	佐藤佳文
入倉尚吾	川原孝文	志村(雉鳥)明美
岩澤(島谷)尚子	川原英幹	十鳥(丸上)好美
植松健	河村泰支	白井健司
大垣和正	川本達也	白石恭史
大川芳範	神崎俊	新名孝司
大島(山木)由美	菊池誠	末沢保彦
大塚康正	岸本伸人	鈴木健司
大野(樫本)直子	北原英幹	鈴木雅晴
大橋正規	木虎淳	曾我部晋司
大林設能	木下(西岡)利依子	高橋(西條)洋子
大山隆弘	木原幹雄	高橋(杉山)由美
岡上拓己	木村吉宏	高橋(藤本)和子

## 東京玉翠会総会

ひとつにする機会をありがとうございました。  
卒有志一同

高橋伸治	野中(白川)真理	美濃弘基
武川(矢葺)恵子	橋本(藤本)京子	村井繁廣
多田羅衛二	濱川喜亘	牟礼幸治
田中信重	林哲也	持田(田中)昌子
田中泰明	林祐一	森孝司
谷岡学	板東和実	森田悌生
谷本武繁	板東睦実	安川(池尻)文子
多羽本伊知郎	彦坂俊史	山地勝仁
田村伊知朗	平野年紀	山田泰子
田村裕	福田真一	横山一郎
辻恵和	福田富永	吉田伊織
辻敏弘	藤本健治	吉田悟
寺尾一夫	古川京司	吉野(水島)すみ
富田(糸井)久美子	北條ひとみ	吉本(宮地)智子
長居(潮入)芳子	正岡忠	米田守宏
中條雅文	松浦宏治	和木茂雄
長野(宮武)邦江	松下光志	脇谷修司
長町(米沢)直子	松田(真田)欣未子	渡邊勇人
長町亨	三木武司	和田康代
中村諭二	三島義之	
西浦孝典	水田潤	
西山淳一	溝内正康	

食べる喜び、食の楽しさを満喫し、健康な日々を  
過ごしていただけるよう、「幸せな食創り」を企業理念に  
活動続ける日本ハム。ハム・ソーセージをはじめ、  
いつも新鮮なおいしさがあふれる商品を通して、  
みなさまひとりひとりの幸福な食卓づくりをお手伝い  
していきたいと考えております。

人と暮らしを潤す  
「幸せな食創り」

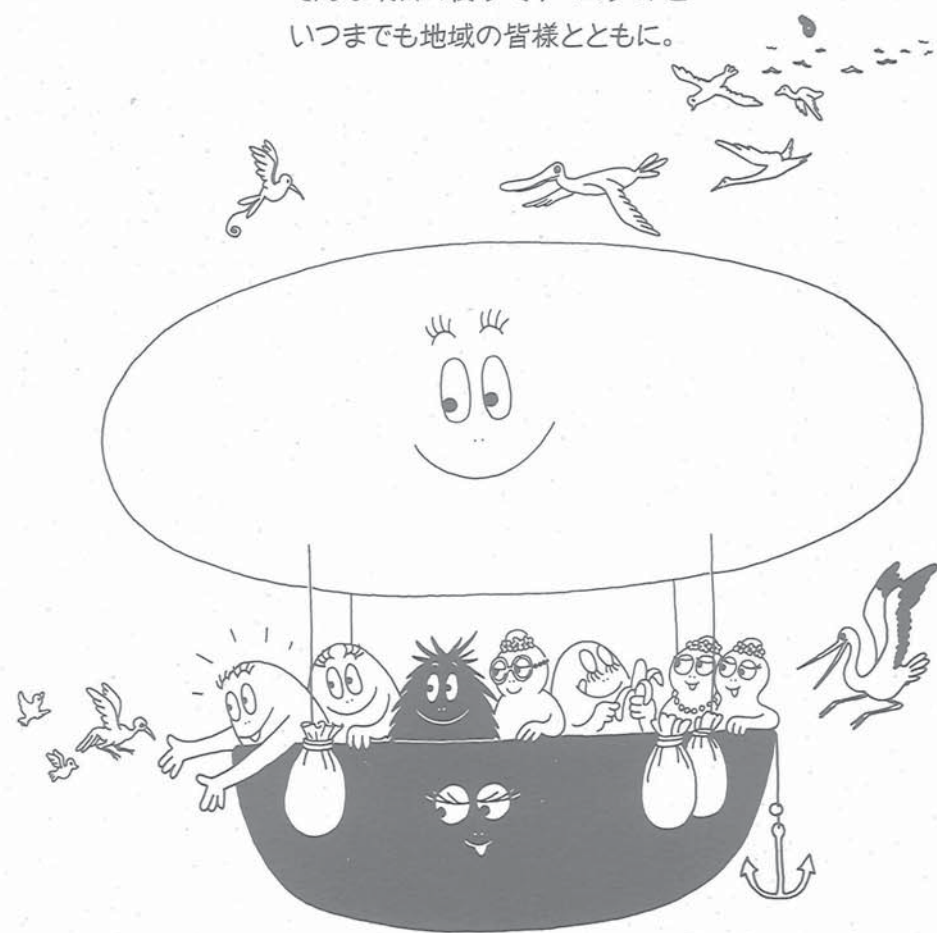


日本ハムグループは、幅広い分野で豊かな暮らしをサポートします。

ハム・ソーセージ事業	加工食品事業	惣菜事業	食肉事業
水産加工品事業	乳飲料事業	ドライフーズ事業	天然系調味料事業
保険事業	旅行事業	スポーツ事業	外食事業
情報処理事業	日本ハム(株)グループ全120数社		

ステキだな。  
人と自然の「ふれあい笑顔」があふれる街。

人と人、人と自然がふれあいながら、  
明日の夢を育ててゆく。  
そんな明日の街づくりへの歩みを  
いつまでも地域の皆様とともに。



**BARBAPAPA**

©1995 Annette Tison and Talus Taylor. All rights reserved. Licensed by Sony Plaza Co., Ltd., Japan.



もったいいい雪へ。もったいいい波へ。新しいフィールドへ。



**[ALL MODE 4x4 SYSTEM]**  
路面状況を判断して、駆動力を最適な状態に自動制御できるオールモード4WDシステム。



**[HIGH PERFORMANCE ENGINE]**  
低中速実用域で力強く、高速でのびる。新開発QR20DEエンジン。低燃費と静粛性を誇る。

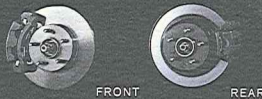


**[COMFORT SUSPENSION]**  
ロングストロークサスペンションを採用。高級セダンに匹敵する安定性と乗り心地を実現。



**X**  
CONTROL

あらゆる局面で走りコントロールする。それが、タフ・ギア——エクストレイル



**[ADVANCED BRAKE SYSTEM]**  
ブレーキアシストを搭載。あらゆる走行状況でも確かな制動が可能な高性能ブレーキシステム。

**TRAIL**  
the tough gear

[www.x-trail.net](http://www.x-trail.net)



S 2WD(E-ATx)185.0万円 / S 4WD(SMT)200.0万円 (E-ATx)200.0万円 / X 2WD(E-ATx)205.0万円 / X 4WD(E-ATx)220.0万円 / GT 4WD(E-ATx)282.5万円 / 寒冷地仕様は1.7万円高となります。/ 価格にはスペアタイヤ、標準工具が含まれます。/ 保険料、税金(含む消費税)、登録等に付する費用は別途申し受けます。/ 価格はメーカー希望小売価格です。沖縄地区は価格が異なります。価格は販売会社が独自に決めておりますので、それぞれの販売会社にお問い合わせください。■PHOTO: X-TRAIL S(4WD・ALL MODE 4x4) ボディカラーはパーニングレッド (#AX6) 【主要諸元】全長X全幅X全高:4445X1765X1875 (mm) ■QR20DE / 1.998L ■最高出力:110kW(150PS) / 6000rpm ■最大トルク:200N・m(20.4kgm) / 4000rpm ■お近くのグループストアへ。■インターネットでクルマが買え!! WWW.NISSAN.CO.JP おクルマのご購入を検討中のあなたへ。日産車計量からビュー [www.nissan.co.jp](http://www.nissan.co.jp) へ今すぐアクセス!! ■日産車のお問い合わせ相談は「お客様相談室」☎0120-315-232 月~金(休日は除く)9:00~12:00 13:00~17:00 ■土曜日曜祝日のお買物相談は「日産インフォメーションセンター」☎0120-838-232 土曜日曜祝日9:00~12:00 13:00~16:00